

第5章 まとめ

なく地域差や機能差と考える。梁側平均柱間の数値は、全般的にばらつきが大きく、桁側と連動して把握することは困難なものとして断念した。これは、梁行と桁行の比率の違いと相似関係にある問題であり、その比率に平均柱間をどう関係づけていくのかが、焦点となるものとする。

註

註1 飯森康広「国分寺参道II遺跡の屋敷遺構について - 下植木壱町田遺跡建物変遷の修正案を兼ねて-」『国分寺参道II遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 に近時掲載予定。

註2 註1に同じ。

参考文献

飯森康広 1999「中世後期館跡とその周辺構造-群馬県下植木壱町田遺跡を中心として-」『信濃』第51巻第10号

同 2000「伊勢崎市下植木壱町田遺跡にみる中世集落」『群馬文化』第264号

第6表 波志江西屋敷遺跡A区掘立柱建物跡一覧表

区別	軸別	掘立No.	規格	庇	梁側(m)		桁側(m)		柱穴径平均(cm)
					全長	平均柱間	全長	平均柱間	
西		1号	2×2間・南北棟		3.585	1.793	4.425	2.213	27.2
		2号	1×2間・南北棟		2.325	—	3.195	1.598	31.5
		13号	2×3間・東西棟		(2.80)	(1.40)	(5.92)	(1.973)	25.5
		14号	2×2間・東西棟		3.850	1.925	4.29	2.145	27.6
		15号	1×3間・東西棟		(4.15)	—	6.87	2.290	27.9
		16号	1×3間・東西棟		4.56	—	6.63	2.210	33.9
		17号	2×2間・東西棟	北	2.805+1.035	1.418	4.515	2.258	23.6
東	①	5号	2×3間・東西棟		4.245	2.123	5.760	1.920	64.8
		6号	2×3間・南北棟	東	4.140+1.860	2.070	6.580	2.193	身62.4 庇46.0
		8号	2×(1)間・南北棟		3.670	1.835	—		53.4
	10号	2×2間・正方形		4.440	2.220	4.515	2.258	63.9	
	②	9号	2×2間・正方形		3.675	1.838	3.690	1.845	59.7
	③	11号	2×3間・南北棟		3.900	1.950	5.985	1.995	63.2
		12号	2×2間・南北棟		3.555	1.778	4.440	2.220	51.2

*規格欄の長さは東西辺・南北辺の平均を使用。平均した場合は下3ケタまで算入。欠損により2辺がそろわない場合は一方のみ使用。

*調査区域外に建物が続く場合、隅柱穴が消滅して規模不明の場合は、()で規格を示す。

*庇長さは全長に含めず+で示し、平均柱間にも考慮しない。

*4・7号は除外。

※ 以下に掲載した冷水村東遺跡及び金古北十三町遺跡の全体図は『冷水村東遺跡・西国分新田遺跡・金古北十三町遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998 に添付されている付図の縮尺を変え、掘立柱建物跡が検出された区を中心にして転載した。

1. 波志江西屋敷遺跡A区西の掘立柱

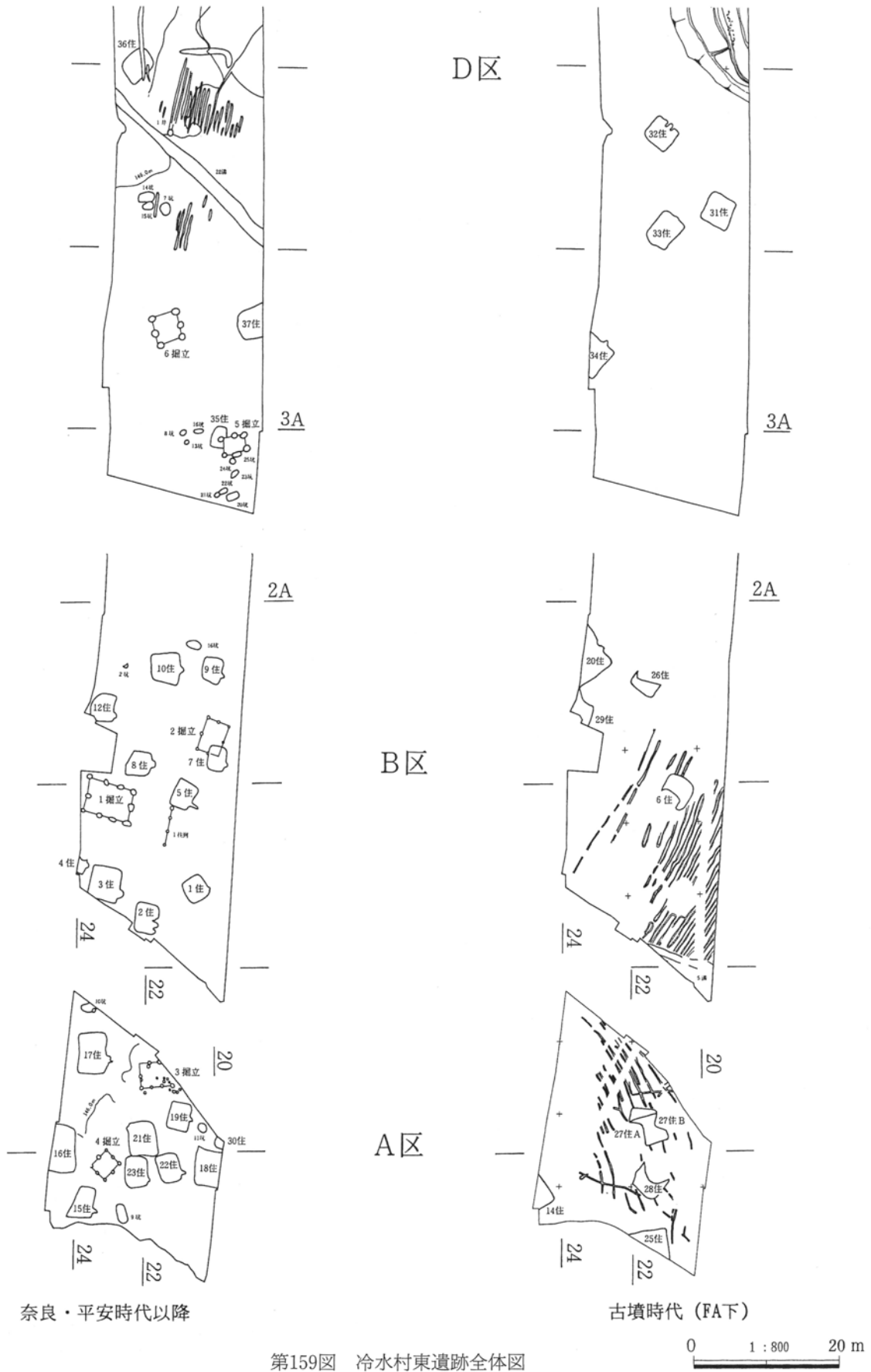
第7表 冷水村東・金古北十三町遺跡 掘立柱建物跡一覧表

類別	掘立柱建物 No.	規 格	梁 側 (m)		桁 側 (m)		柱 穴 径 平均(cm)	時 期
			全 長	平均柱間	全 長	平均柱間		
冷水村東	A区3号	2×3間・東西棟	—	—	4.42	1.473	55.50	古墳～平安
	A区4号	2×2間・南北棟	2.505	1.253	2.985	1.493	43.50	古墳～平安
	B区1号	2×3間・東西棟	4.240	2.120	6.110	2.037	76.31	古墳～平安
	C区2号	2×2間・南北棟	3.05	1.525	4.50	2.250	39.54	古墳～平安
	D区5号	1×2間・東西棟	2.200	—	3.275	1.638	43.67	平安
	D区6号	1×2間・南北棟	3.355	—	3.430	1.715	90.42	古墳～平安
金古北十三町	1区1号	2×3間・南北棟	4.100	2.050	6.150	2.007	55.86	平安
	2区1号	2×3棟・南北棟	4.270	2.135	6.100	2.033	58.85	平安
	5区2号	2×2棟・東西棟	3.280	1.640	3.810	1.905	37.69	平安
	1区3号	2×2間・南北棟	3.64	1.820	4.26	2.130	50.31	平安
	1区2号	2×3間・南北棟	3.430	1.715	4.700	1.567	36.95	平安
	1区4号	2×3間・南北棟	3.240	1.620	4.750	1.583	39.90	平安
	1区5号	2×5間・東西棟	4.090	2.045	7.480	1.496	40.46	平安
	1区6号	2×3棟・東西棟	3.790	1.895	4.740	1.580	67.35	平安
	5区3号	2×2棟・正方形	2.825	1.413	2.950	1.475	28.90	平安
	5区1号	2×2棟・東西棟	2.700	1.350	3.340	1.670	31.31	平安
	6区1号	1×2間・南北棟	3.50	—	3.18	1.59	19.60	中近世
	6区2号	1×2間・東西棟	1.515	—	3.780	1.890	35.01	中近世
	8区2号	1×2間・東西棟	2.385	—	2.840	1.420	35.17	不明
	9区1号	2×2棟・南北棟	3.460	1.730	4.480	2.240	43.47	不明
	14区1号	1×1間・正方形	2.005	—	2.145	—	42.75	中近世
15区1号	1×2間・東西棟	1.930	—	3.80	1.900	25.50	中近世	

*規格欄の長さは東西辺・南北辺の平均を使用。平均した場合は下3ケタまで算入。欠損により2辺がそろわない場合は一方のみ使用。



第158図 波志江西屋敷遺跡A区全体図



第159図 冷水村東遺跡全体図

1. 波志江西屋敷遺跡A区西の掘立柱建物跡群について



奈良・平安時代以降

古墳時代 (FA下)

第160図 金古北十三町遺跡全体図

0 1 : 800 20 m

2. 成果と課題

伊勢崎台地の北部に位置する波志江西屋敷遺跡では、弥生時代の遺構の存在は確認できなかったが、縄文時代から古墳時代、奈良・平安時代、中世を経て現代まで、連綿として人間の営みが痕跡となって残されていた。特に奈良・平安時代から近世までの遺構・遺物が数多く検出され、幾多の事実が明らかになってきた。ここでは、住居跡が検出された古墳時代末から奈良・平安時代の遺構と遺物についての事実成果と課題を列挙していき、詳説や考察については後日の機会を待ちたい。

1. 遺物

(1) 土器

本遺跡の住居跡から出土している土器について、土師器甕を基準にし、それに共伴する土器を加えて5つの土器組成群に分類した。さらに、分類した土器群を既に報告されている文献等を参考にして、各土器の消長や形態変化から土器組成の画期を見だし、5期の順序を与えてみた。以下その特徴に触れてみたい。

I 期 当期はB区2号住居跡に代表される。土師器甕は口縁部片で、胴部の器形及び整形技法がはっきりしないが、口縁の傾きから7世紀後半の長胴甕になると思われる。土師器坏は体部に稜をもち、口縁は直線的に外反する。

II 期 当期はA区7号住居跡に代表される。同時期と思われる住居跡にA区9・13・14・22号住居跡がある。土師器甕は胴部上位に最大径をもち、口縁部が「く」字状の様相を示す。土師器坏は平底の底部からやや膨らみをもって立ち上がる器形となる。底部に篋削り、体部にはナデを施す。須恵器坏は体部が直線的に外反する。底部は回転糸切り後未調整である。甕の形態から、8世紀段階でもよいと思われるが、土師器坏、須恵器坏の形態を考慮して、9世紀前半に想定するのが無難かと思われる。

III 期 当期はA区10号・16号住居跡に代表される。同時期と思われる住居跡にA区1・2・3・10・20・23・24・B区3・4号住居跡がある。土師器甕は「コ」字状口縁の最盛期にあたり、全体的に器肉が薄い。土師器坏は平底の底部から外反する。また、体部に指頭痕が残るものもある。須恵器坏は直線的に外反する。底径がやや狭くなる。底部は回転糸切り後未調整である。須恵器坏は下位に膨らみをもち、断面方形の高台をもつ。

IV 期 当期はA区12号住居跡に代表される。同時期と思われる住居跡にA区4・5・6・11・17・18号住居跡がある。土師器甕は胴部の膨らみが小さくなり、口縁部の下位の屈曲が弱くなって「コ」字状口縁が崩れ始める。土師器坏は平底の底部から直線的に外反する。須恵器坏は口縁部の外反が強くなり、壺と似た器形となる。高台付皿、内外面を施釉した灰釉陶器碗、内面を黒色処理した壺も出土している。

V 期 当期はA区8号住居跡に代表される。土師器甕は器肉が厚く、胴部上半に膨らみをもつ。口縁は短く外反する。須恵器坏の器形はV期と同様に壺と似たような形状をしているが、酸化焙焼成のものが目に付く。須恵器坏僅かな丸みをもって外反する。

各期の時期については、本遺跡では年代的根拠となる資料は出土していないため、群馬県で9世紀第4四半期の年代的根拠とされている黒熊中西遺跡10号住居跡出土遺物との比較をした。その結果、本遺跡のIV期の土器がこれに相当すると思われる。そこで、I期を7世紀後半、II期を9世紀前半、III期を9世紀第3四半期、IV期を9世紀第4四半期、V期を10世紀前半と想定した。

(2) 施釉陶器

施釉陶器は25点出土している。その内訳は灰釉陶器24点、緑釉陶器1点である。出土した灰釉陶器は黒笹14

号窯式期、黒笹90号窯式期、光ヶ丘1号窯式期にかけてのものである。緑釉陶器は京都洛北窯式期のものである。出土した遺構は住居跡が6軒で、多くの施釉陶器は遺構外遺物として取り上げられている。住居跡から出土した施釉陶器のうち黒笹14号窯式期、洛北窯式期のものは住居年代がともに9世紀後半代に比定されていることから一次的な搬入とは考えにくい。また、本遺跡での灰釉陶器は黒笹14号窯式期のものが全体の40%と高い比率であり、県内では稀少な例である。こうした背景には本遺跡で検出した掘立柱建物跡群が関連すると考えられる。

(3) 鉄製品

出土した鉄製品23点のうち20点が古代鉄と思われる。その内訳は、釘及び釘と思われるもの7点・刀子5点・切羽1点・不明鉄製品7点である。これらの鉄製品の住居内出土率は60%である。住居跡内から鉄製品が5点以上検出しているのはA区7号住居跡だけである。7号住居跡は、本遺跡では平均的な床面積をもつ住居跡である。この住居跡から出土した5点の鉄製品のうち2点は刀子である。鉄製品の他に、墨書土器、溶融して短くなった羽口も出土している。また、鉄製品のうち刀子は5点中4点が住居跡の出土である。特に、B区3号住居跡から出土した刀子は刃長16.6cm・全長24.2cmの大刀子で、茎に柄と思われる木片が残存している。

(4) 石製品・土製品

砥石は11点検出されている。遺構から出土したものは全体の3割に満たない。住居跡内から出土したのはA区9号住居跡のみで、砥石が2点出土している。この住居跡は砥石以外にも釘2点、炭化材(第4章自然科学分析を参照のこと)も検出されている。砥石の石材は流紋岩が1点あるだけで、残りはすべて砥沢石である。遺構外から出土したものは両側部に榫目タガネが施されているものもあり、比較的新しいものが見受けられる。

紡錘車は4点検出されている。このうち住居跡内から出土したものは2点である。A区4号住居跡から出土した紡錘車は須恵器坏の底部を転用したものである。また、A区9号住居跡から出土したものは、須恵質の紡錘車で、表面に篋削りの痕跡が残り、自然釉が掛かる。遺構外から出土した紡錘車は2点あり、石製(榛名山二ツ岳軽石、砥沢石)の紡錘車である。伊勢崎市で平安時代の紡錘車が数多く出土した遺跡として、上植木光仙房遺跡がある。ここでは、石製9点、鉄製3点、須恵器の転用品1点、土製1点の紡錘車が出土している。この中には、本住居跡出土の須恵質の紡錘車は見られない。今後同様な資料の集成が必要と思われる。

2. 遺構

(1) 竪穴住居跡

本遺跡から竪穴住居跡は27軒検出されている。住居跡相互の重複関係はA区4号住居跡→A区5号住居跡→A区6号住居跡、A区13号住居跡→A区8号住居跡、A区18号住居跡→A区12号住居跡、A区24号住居跡→A区20号住居跡、B区4号住居跡→B区3号住居跡がある。また掘立柱建物跡と住居跡の重複関係はA区5号掘立柱建物跡→A区4・5号住居跡、A区6号掘立柱建物跡→A区7号住居跡、A区9・12号掘立柱建物跡→A区8号住居跡、A区12号掘立柱建物跡→A区13号住居跡、A区10号掘立柱建物跡→A区10号住居跡がある。

この重複関係と第161図による土器の時間軸で本遺跡の住居跡を見ていくと、I期1軒・II期5軒・III期11軒・IV期7軒・V期1軒・不明2軒(A区21号住居跡は「コ」字状口縁と思われる甕の破片が出土している。B区1号住居跡はその住居跡形態からV期以降と推定される。)と分類することができる。III期以降すなわち、9世紀後半に住居数が増加していく。これに対して住居跡と重複関係にある掘立柱建物跡は出土遺物が少なく、時期を想定するのが難しい。しかし、II期に相当する土師器坏、小型甕が柱穴より出土しているものもあり、この時期で考えるのが妥当と思われる。住居跡の形態及び規模についても少々述べてみたい。本遺跡の住居跡

第5章 まとめ

の形態は縦長タイプが全体の58%を占める。横長タイプはⅢ期になると増える傾向にある。また、平均床面積は11.7㎡で、小規模な住居跡が多い。柱穴がある住居跡はなかった。貯蔵穴がある住居跡は5軒のみである。検出された竈はすべて東竈であった。このような特徴が地域性なのかどうかは今後の研究課題としたい。

本稿の作成にあたり、次の方々から多くのご教示を得た。感謝申し上げたい。

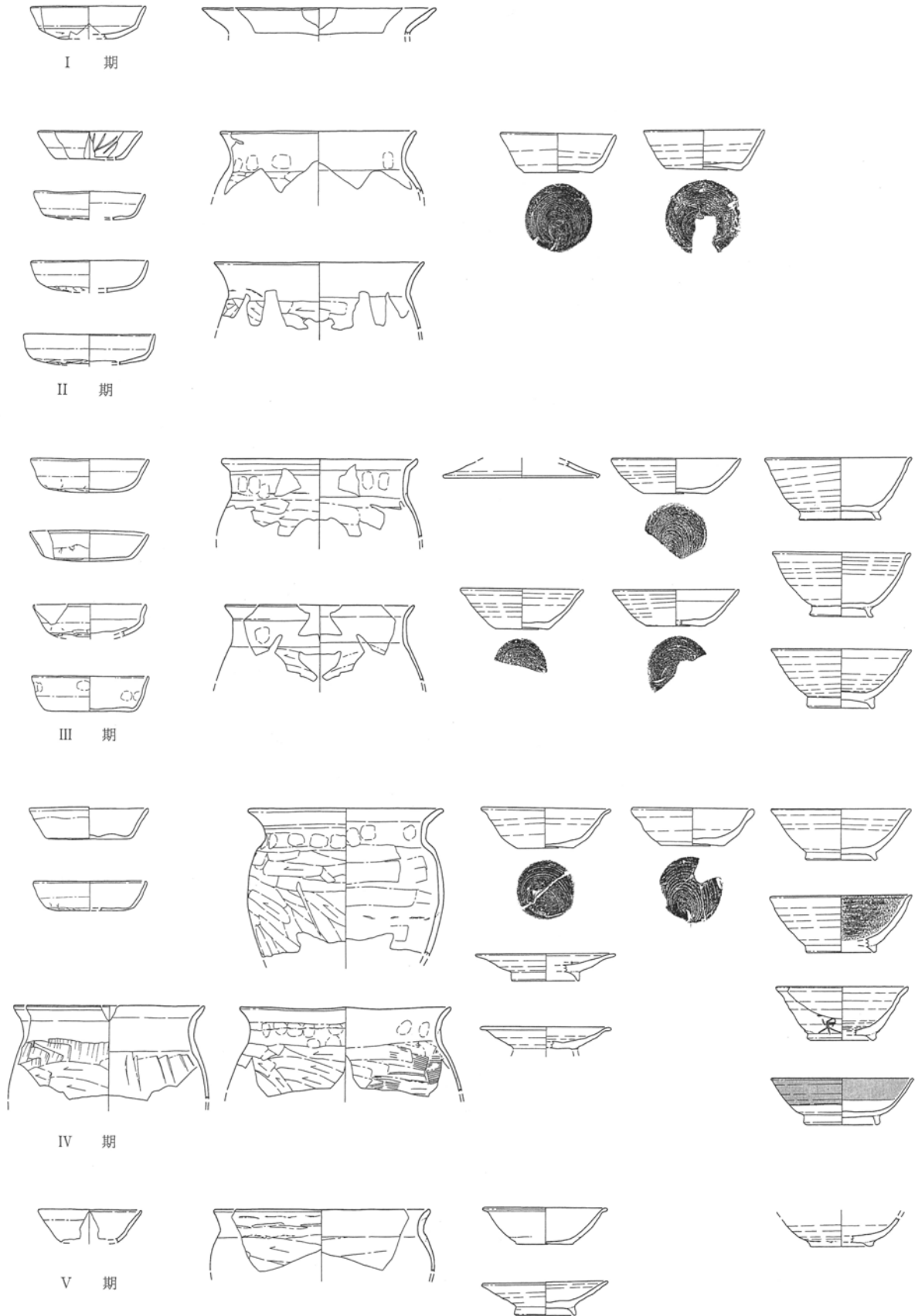
中沢 悟 綿貫邦男 神谷佳明 桜岡正信

参考文献

- 坂口 一・三浦京子 1986「奈良・平安時代の土器の編年－住居の重複と共伴関係による土器型式組列の検討－」『群馬県史研究』第24号 群馬県史編さん委員会
 『上野国分僧寺・尼寺中間地域』 1987 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『上植木光仙房遺跡』 1988 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『黒熊中西遺跡(2)』 1994 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『上栗須寺前遺跡群Ⅰ』 1993 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『矢田遺跡Ⅶ』 1997 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 『出土した古代の土器』最新情報展示レポート 1997 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
 桜岡正信 2000「愛宕山遺跡第4号住居址出土土器の再検討」『愛宕山遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

第8表 波志江西屋敷遺跡住居跡一覧表

住居No	規模 東西×南北	形態	竈の位置	軸方位	施設		土師器				須恵器				灰釉陶器		緑釉陶器	鉄製品	石製品	備考
					溝	柱	貯	坏	甕	坏	埴	皿	蓋	甕	その他	碗				
A 1	不可	不明	東	99°-E			○		○											Ⅲ期
A 2	不可	不明	不明	不可					○											Ⅲ期
A 3	4.62×3.02	縦長	東	75°-E	○				○					壺						Ⅲ期
A 4	5.94×5.40	縦長	東	100°-E			○		○					○		長頸壺				Ⅳ期 紡錘車
A 5	4.05×3.65	縦長	東	98°-E					○	○	○	○								Ⅳ期
A 6	4.30×3.16	縦長	東	93°-E				○	○	○	○							刀子		Ⅳ期 刻書土器
A 7	4.43×4.02	縦長	東	84°-E	○		○	○	○	○	○		○					刀子、釘		Ⅱ期 墨書土器 羽口
A 8	4.95×3.86	縦長	東	99°-E				○	○	○	○				○	○		板棒状		Ⅴ期 羽口 鉄滓
A 9	3.42×3.18	縦長	東	87°-E				○	○	○								釘	砥石	Ⅱ期 紡錘車
A 10	4.78×3.36	縦長	東	92°-E					○	○	○				○					Ⅲ期
A 11	3.72×2.91	縦長	東	100°-E					○	○				長頸瓶					器種不明	Ⅳ期
A 12	2.86×3.86	横長	東	97°-E				○	○	○	○	○			○					Ⅳ期
A 13	不可	不明	不明	不可				○											器種不明	Ⅱ期 鉄滓
A 14	3.68×3.29	縦長	東	105°-E				○												Ⅱ期
A 15	3.90×4.08	横長	東	108°-E				○	○											Ⅲ期
A 16	3.36×不可	不明	東	96°-E				○	○		○	○	○							Ⅲ期
A 17	3.80×2.40	不明	東	101°-E				○	○		○	○								Ⅳ期
A 18	2.47×2.79	横長	東	95°-E				○												Ⅳ期
A 19	欠																			
A 20	3.55×3.50	方形	東	87°-E				○	○	○										Ⅲ期
A 21	不可×2.64	不明	東	95°-E																9世紀
A 22	不可	不明	不明	不可				○	○	○	○									Ⅱ期 墨書土器
A 23	2.90×2.92	方形	不明	不可							○									Ⅲ期
A 24	2.71×2.73	方形	東	86°-E			○		○	○	○			長頸壺				○碗		Ⅲ期
B 1	2.10×3.08	横長	東	101°-E																Ⅴ期以降?
B 2	3.40×3.22	縦長	東	90°-E				○	○											Ⅰ期
B 3	不可×(3.93)	不明	東	85°-E				○	○					○	平瓶			刀子		Ⅲ期
B 4	不可×(3.66)	不明	東	97°-E				○	○											Ⅲ期



第161図 波志江西屋敷遺跡の土器の変化

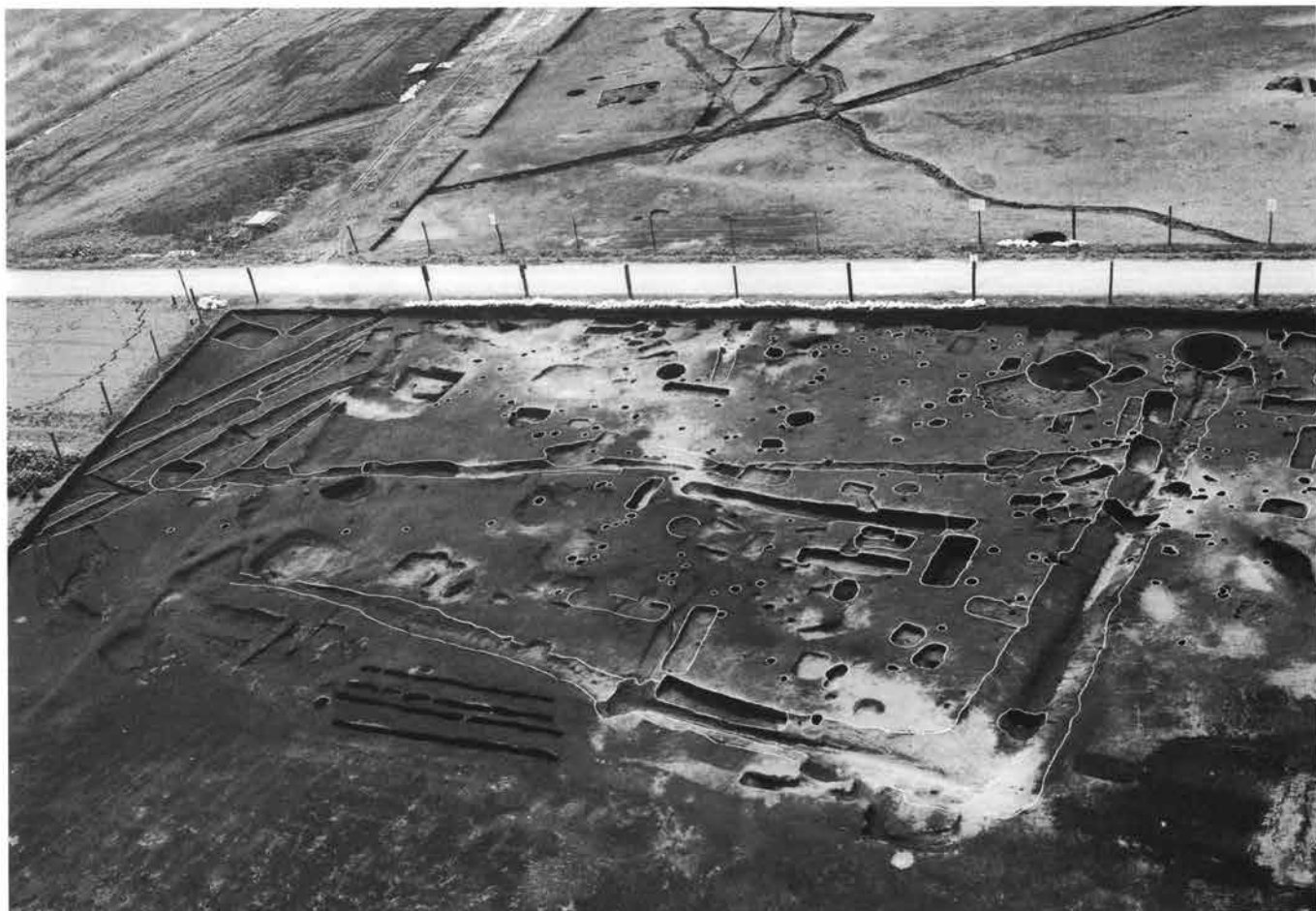
報告書抄録

ふりがな	はしえにしやしきいせき
書名	波志江西屋敷遺跡
副書名	北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域埋蔵文化財調査報告書
巻次	第316集
シリーズ名	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告
シリーズ番号	第20集
編集者名	角田芳昭
編集機関	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒377-8555 群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784-2 TEL 0279(52)2511
発行年月日	西暦2003年3月25日

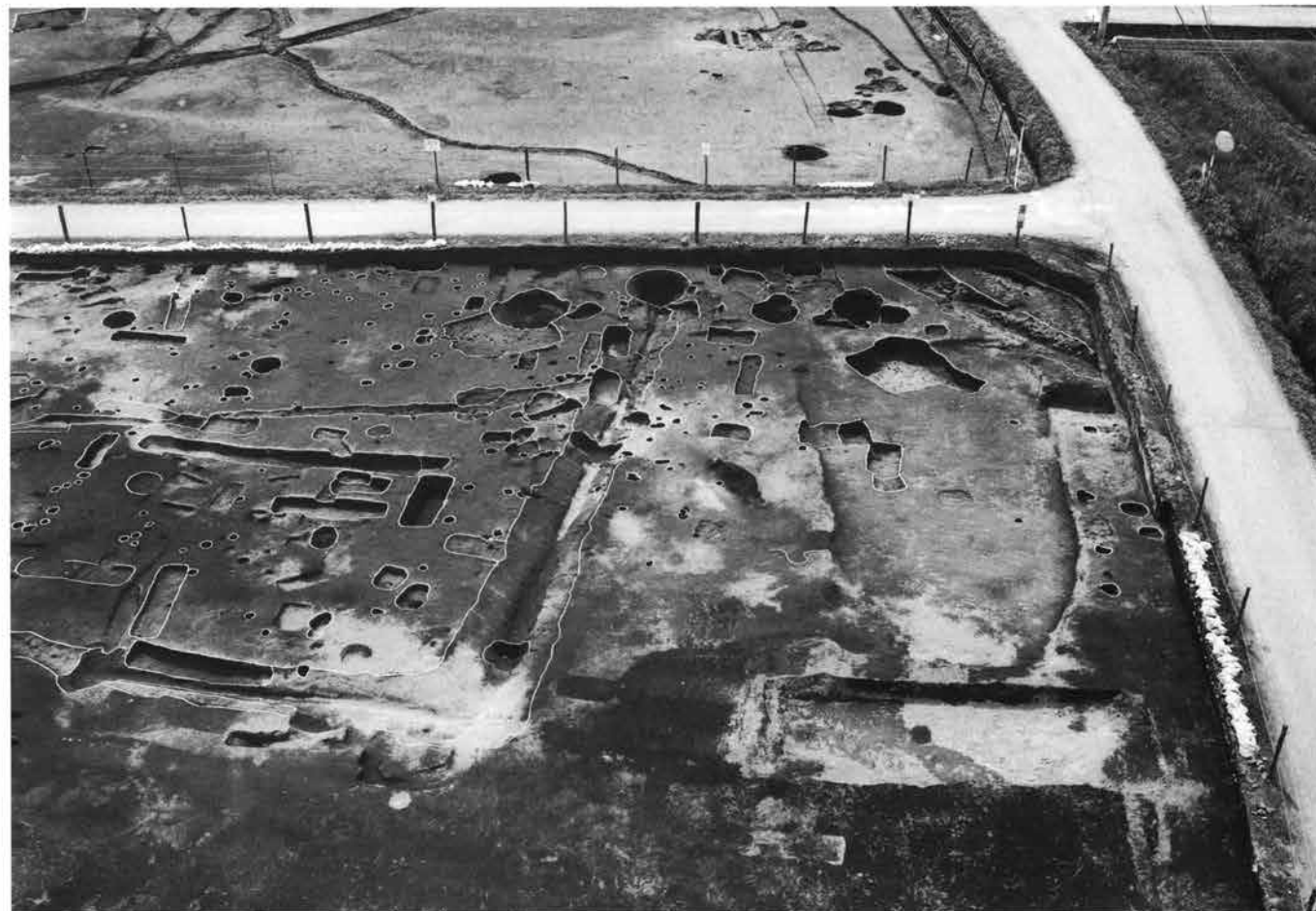
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
はしえにしやしき 波志江西屋敷	ぐんまけんいせきし 群馬県伊勢崎市 はしえまち 波志江町	10204		36° 20' 55"	139° 11' 3"	19980401～ 19980731 19990101～ 19990331 19990402～ 19991207	18,215	北関東自動車道建設工事に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
波志江西屋敷	集落	縄文時代	埋甕 1基	縄文土器・石器	9世紀前半の灰釉陶器・緑釉陶器
		古墳時代後期	竪穴住居跡 1軒	土師器・須恵器	
			掘立柱建物跡 1棟		
			円形周溝遺構 1基		
			奈良・平安時代	竪穴住居跡 26軒	灰釉陶器・緑釉陶器・鉄製品
		中近世	掘立柱建物跡 12棟		
			井戸跡 3基		
			溝 14条		
			土坑 6基		
			掘立柱建物跡 7棟	陶器・磁器・石製品	
			井戸跡 15基		
		溝 63条			
		土坑・ピット等			

写 真 图 版



A区西側全景(東から)



A区西側全景(東から)



A区西端(現道下)全景(南から)



B区全景(西から)



C区全景(西から)



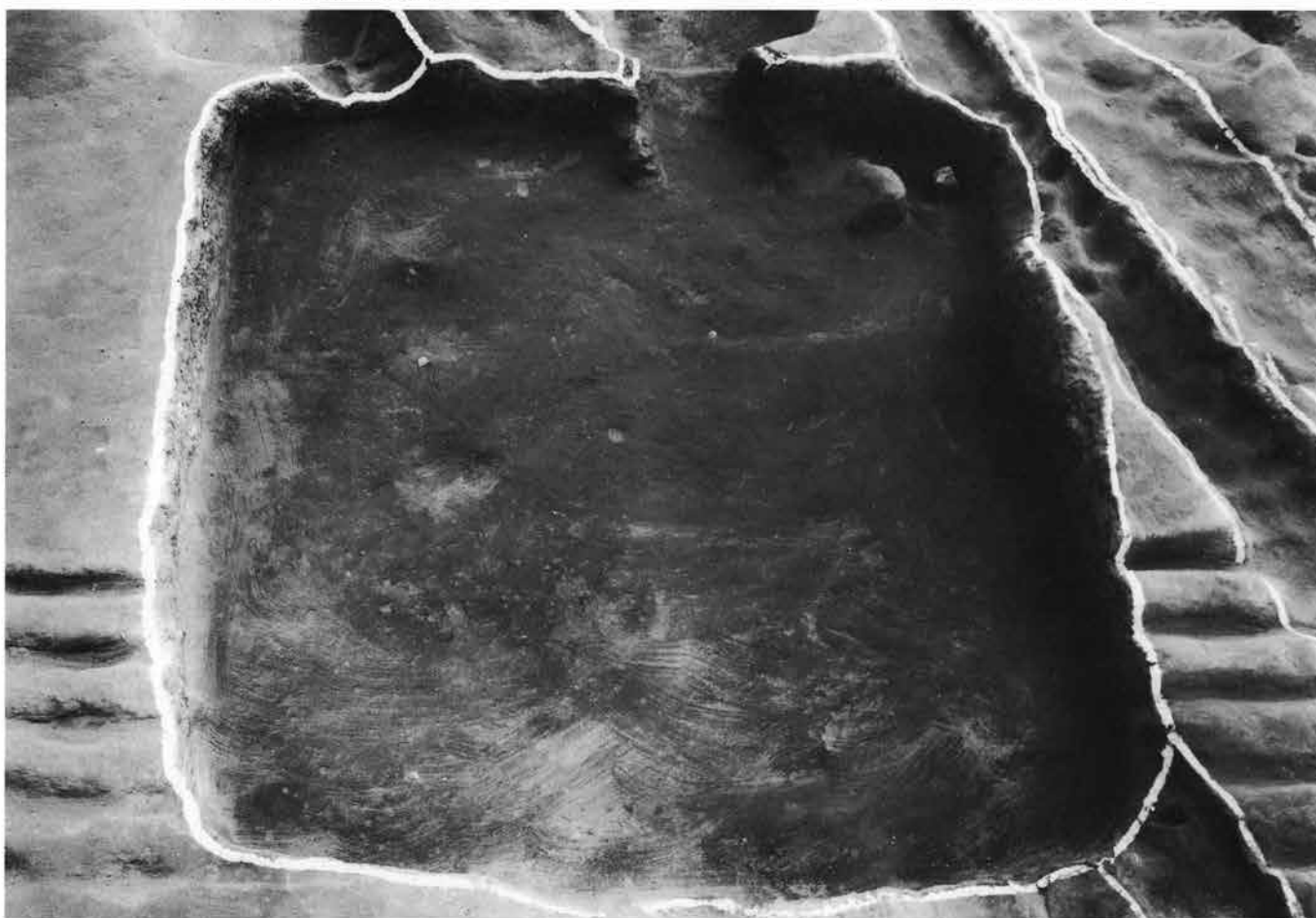
D区全景(西から)



A区1号埋甕全景(東から)



注口土器出土状況(北から)



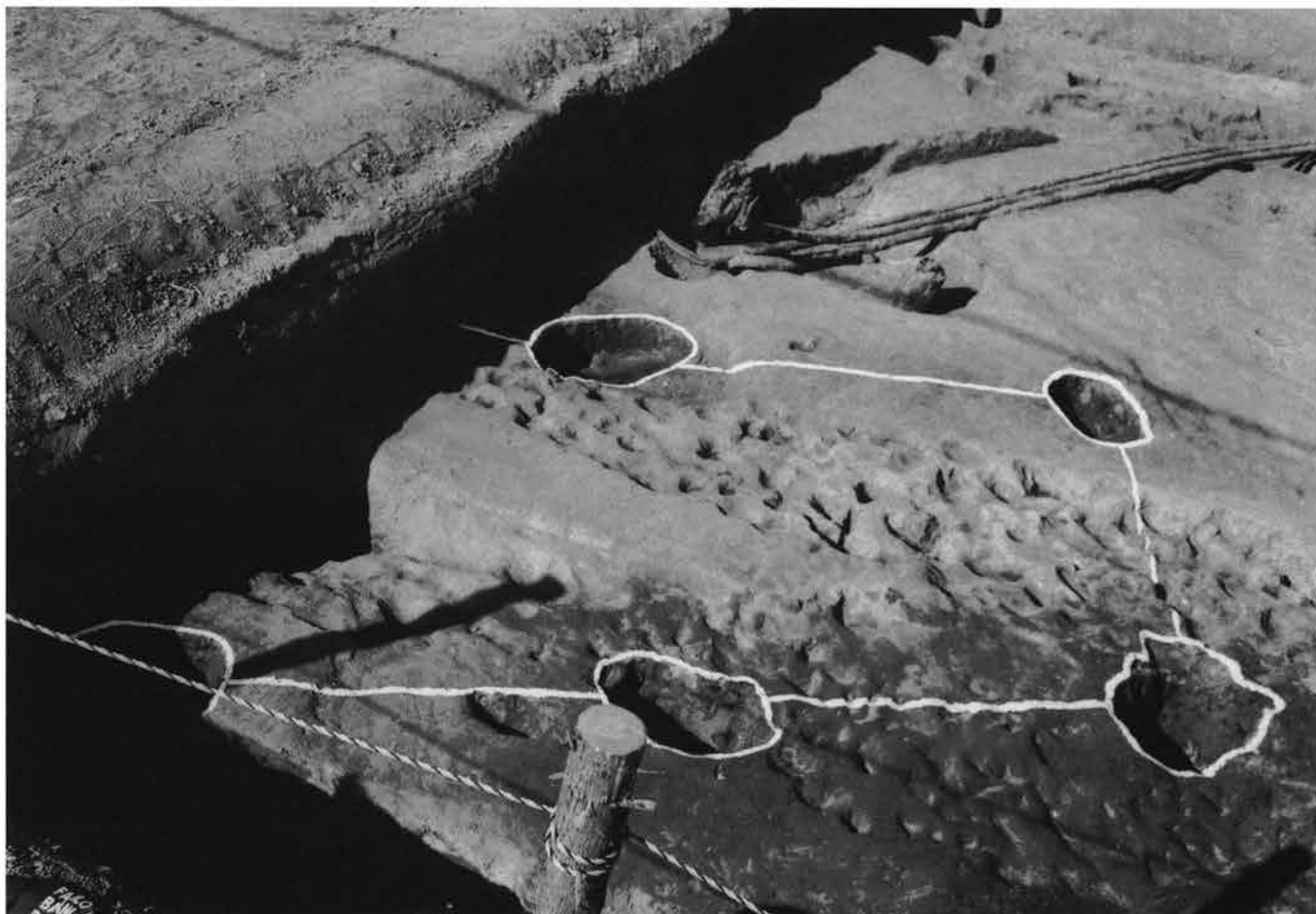
B区2号住居跡全景(西から)



B区2号住居跡竈全景(西から)



B区2号住居跡掘り方全景(西から)



B区1号掘立柱建物跡全景(南西から)



A区1号円形周溝遺構全景(南から)



A区1号円形周溝遺構全景(東から)



A区1号円形周溝遺構(右)・25号溝(左)セクション(南西から)



A区1号円形周溝遺構セクション(西から)



A区1号住居跡全景(西から)



A区1号住居跡掘り方セクション(南から)



A区1号住居跡竈掘り方全景(西から)



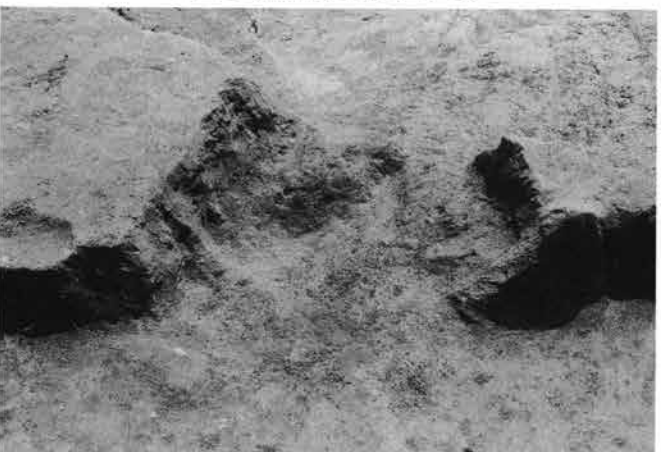
A区2号住居跡掘り方全景(南から)



A区3号住居跡全景(西から)



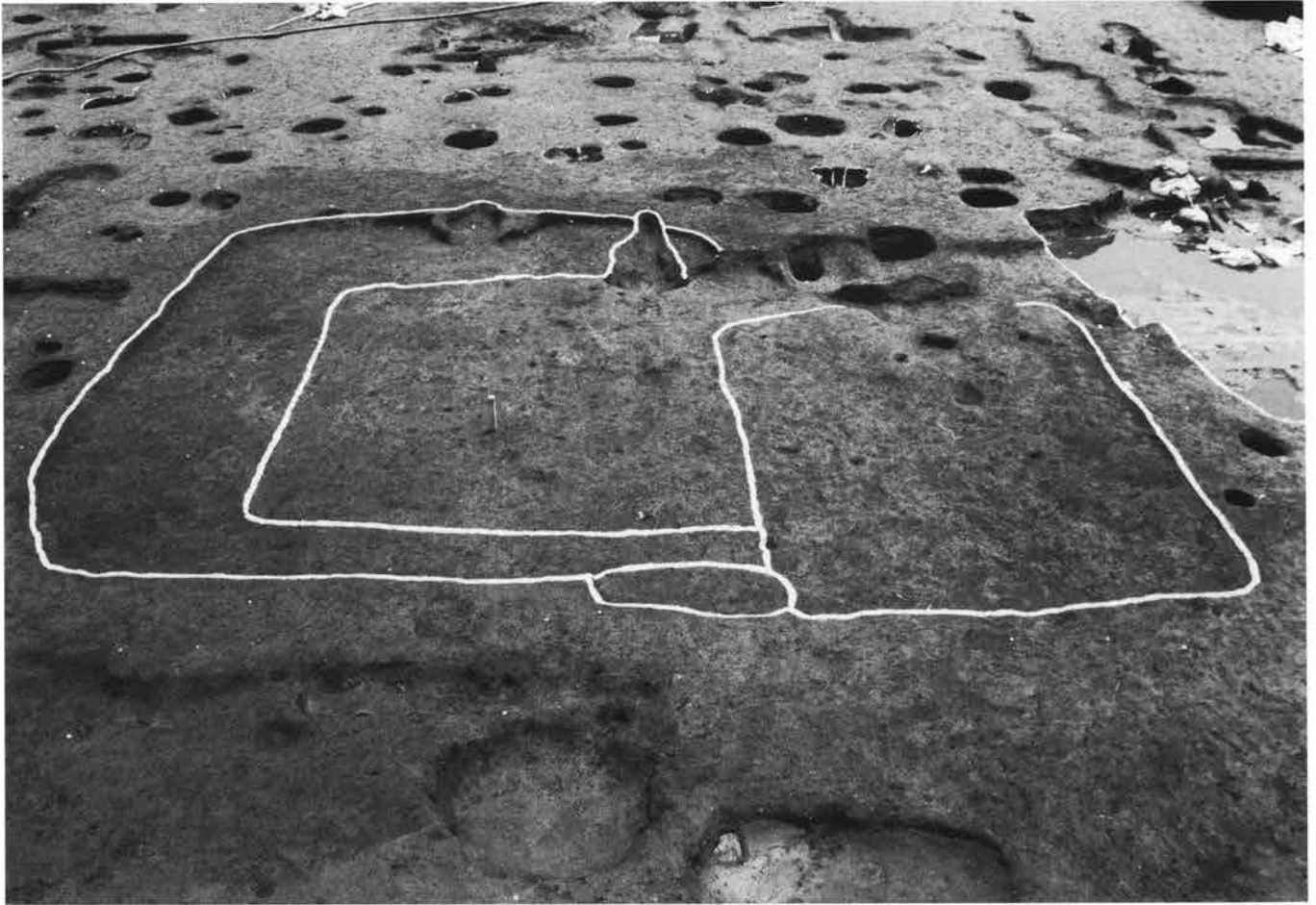
A区3号住居跡掘り方A-A'セクション(西から)



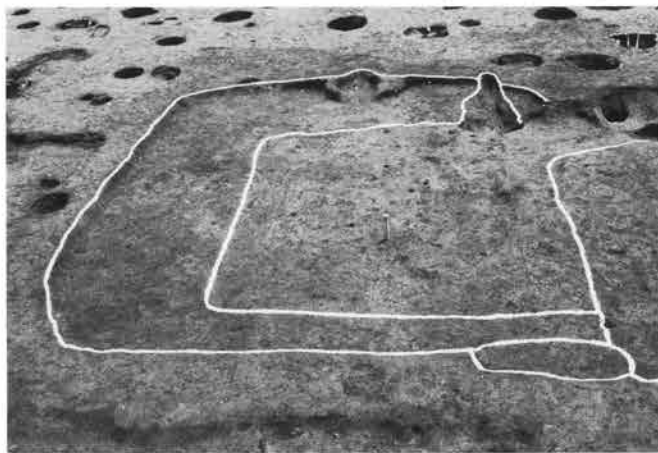
A区3号住居跡竈掘り方全景(西から)



A区3号住居跡掘り方全景(西から)



A区4(左)・5(中)・6(右)号住居跡全景(西から)



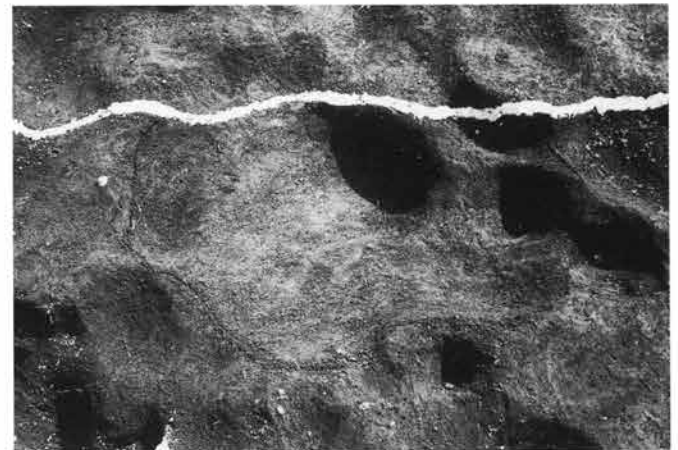
A区4(左)・5(中)号住居跡全景(西から)



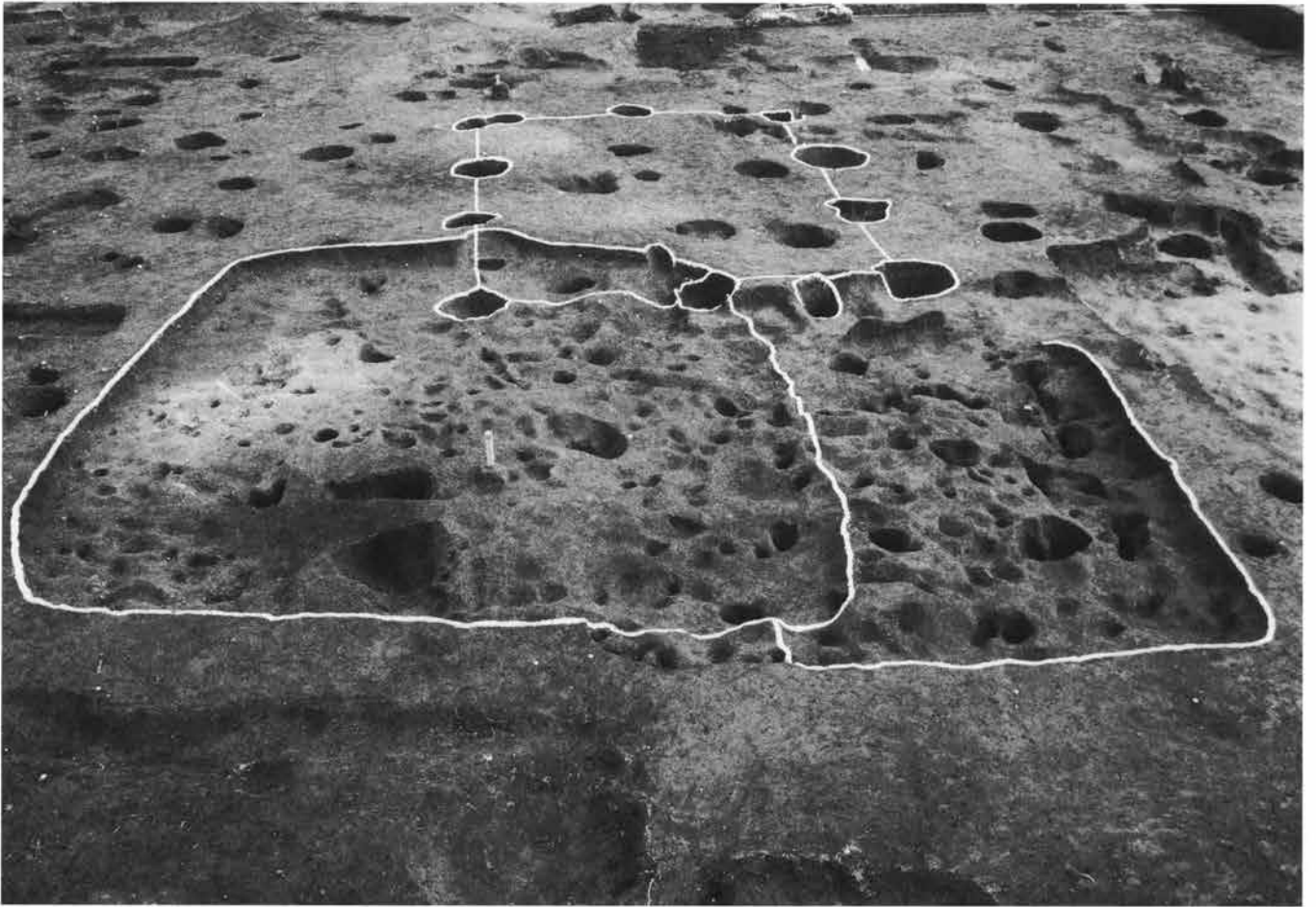
A区4号住居跡竈全景(西から)



A区4号住居跡竈B-B'セクション(西から)



A区4号住居跡貯藏穴全景(北から)



A区4(左)・5(中)・6(右)号住居跡掘り方全景(西から)



A区5号住居跡全景(西から)



A区5号住居跡竈全景(西から)



A区5号住居跡竈セクション(西から)



A区6号住居跡全景(西から)



A区7号住居跡全景(西から)



A区7号住居跡遺物出土状況(西から)



A区7号住居跡貯蔵穴遺物出土状況(東から)



A区7号住居跡竈掘り方全景(西から)



A区7号住居跡竈セクション(西から)



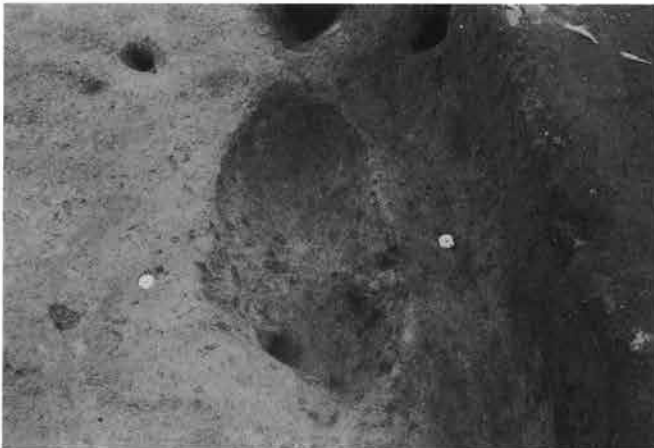
A区8号住居跡全景(西から)



A区8号住居跡セクションB-B'(西から)



A区8号住居跡竈全景(西から)



A区8号住居跡床下土坑全景(西から)



A区8号住居跡掘り方全景(西から)



A区9号住居跡全景(西から)



A区9号住居跡セクションB-B'(西から)



A区9号住居跡竈全景(西から)



A区9号住居跡竈セクションA-A'(南から)



A区9号住居跡掘り方全景(西から)



A区10号住居跡全景(西から)



A区10号住居跡竈全景(西から)



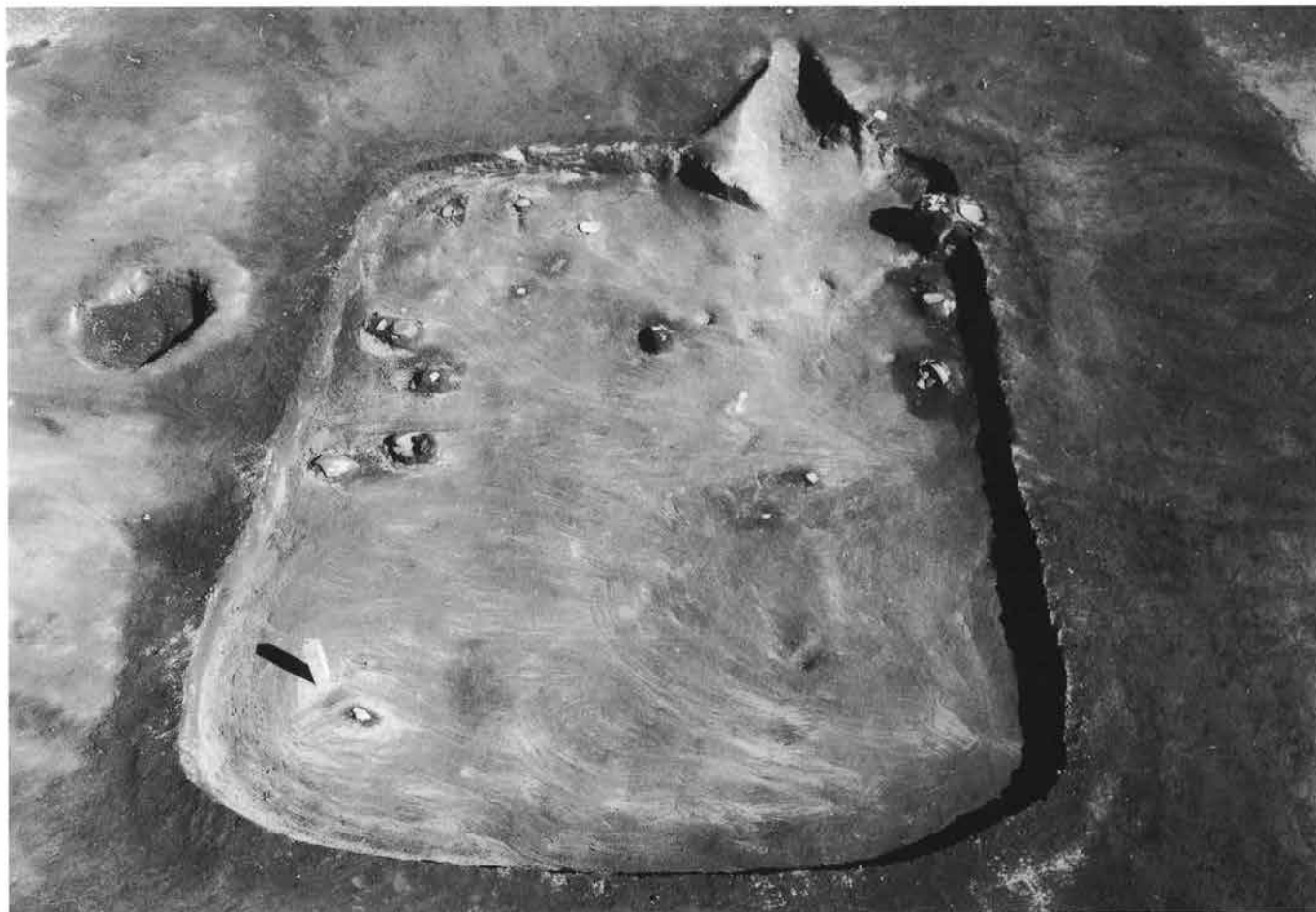
A区10号住居跡竈セクションB-B'(南から)



A区10号住居跡竈掘り方全景(西から)



A区10号住居跡掘り方全景(西から)



A区11号住居跡全景(西から)



A区11号住居跡セクションA-A' (南から)



A区11号住居跡竈全景(西から)



A区11号住居跡竈セクションC-C' (南から)



A区11号住居跡掘り方全景(西から)



A区12号住居跡全景(西から)



A区12号住居跡セクションA-A' (南から)



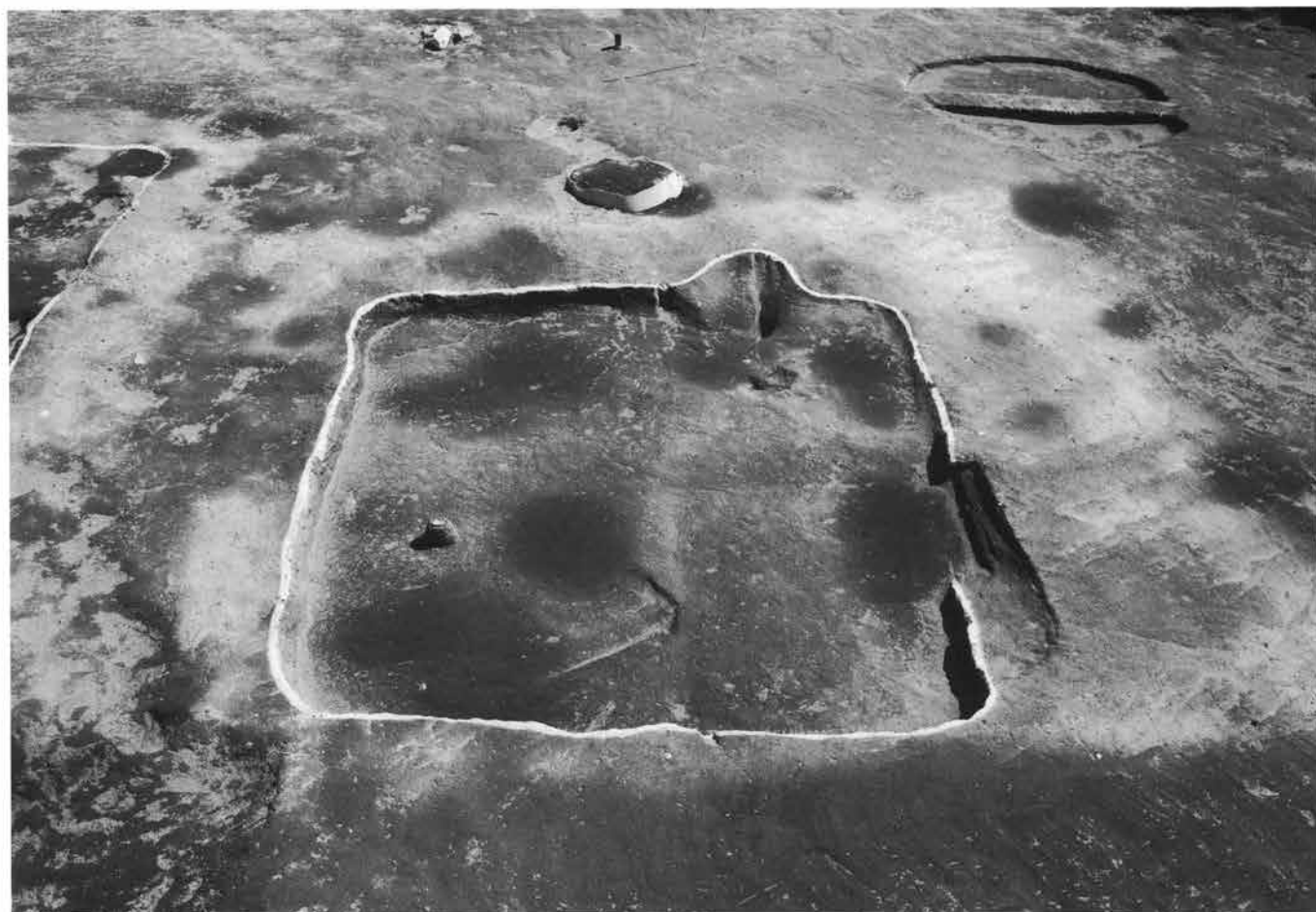
A区12号住居跡竈全景(西から)



A区12号住居跡(外)掘り方・18号住居跡(内)全景(西から)



A区13号住居跡全景(西から)



A区14号住居跡全景(西から)



A区14号住居跡セクションA-A'(南から)



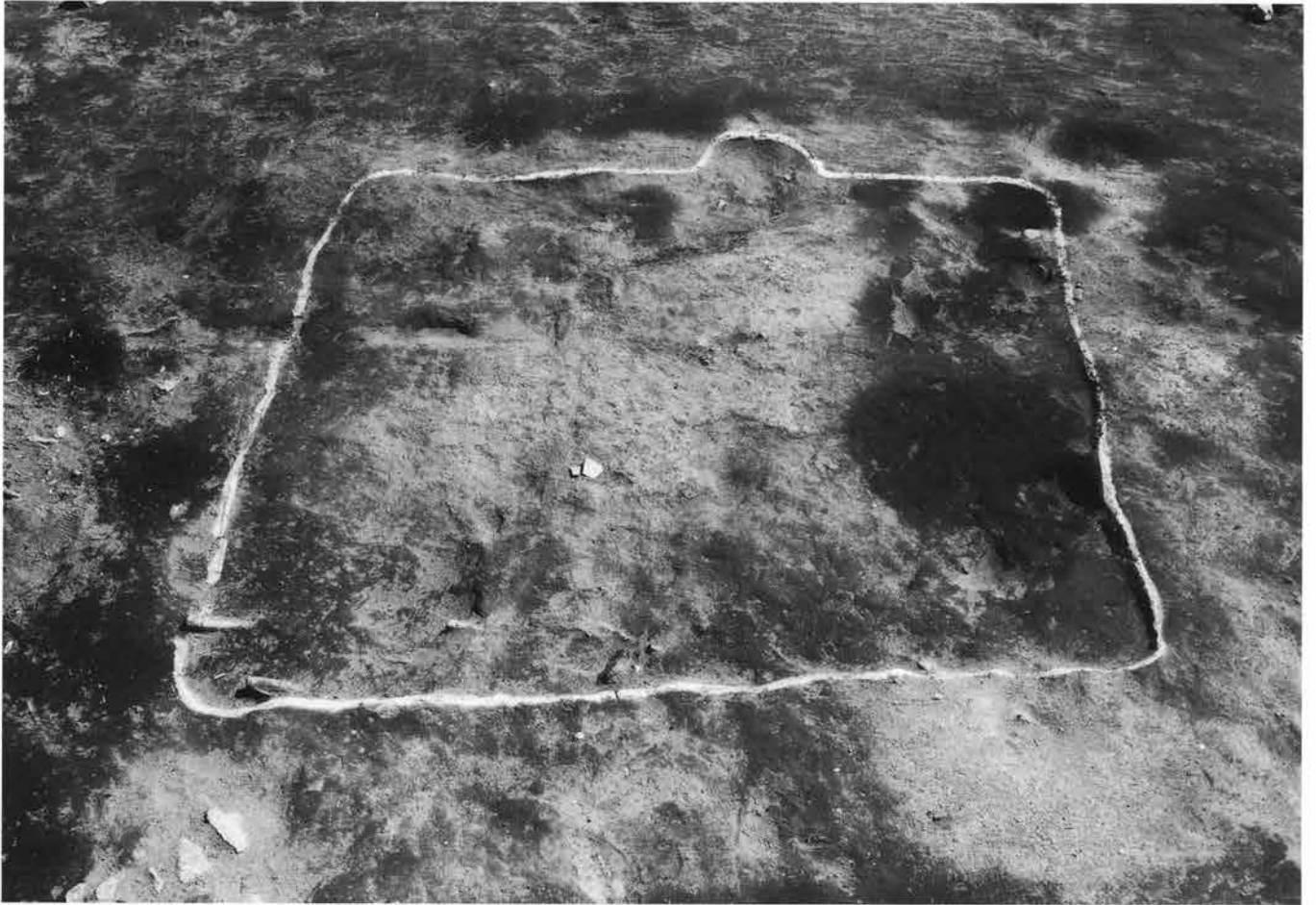
A区14号住居跡竈全景(西から)



A区14号住居跡竈掘り方セクション(南から)



A区14号住居跡掘り方全景(西から)



A区15号住居跡全景(西から)



A区15号住居跡竈全景(西から)



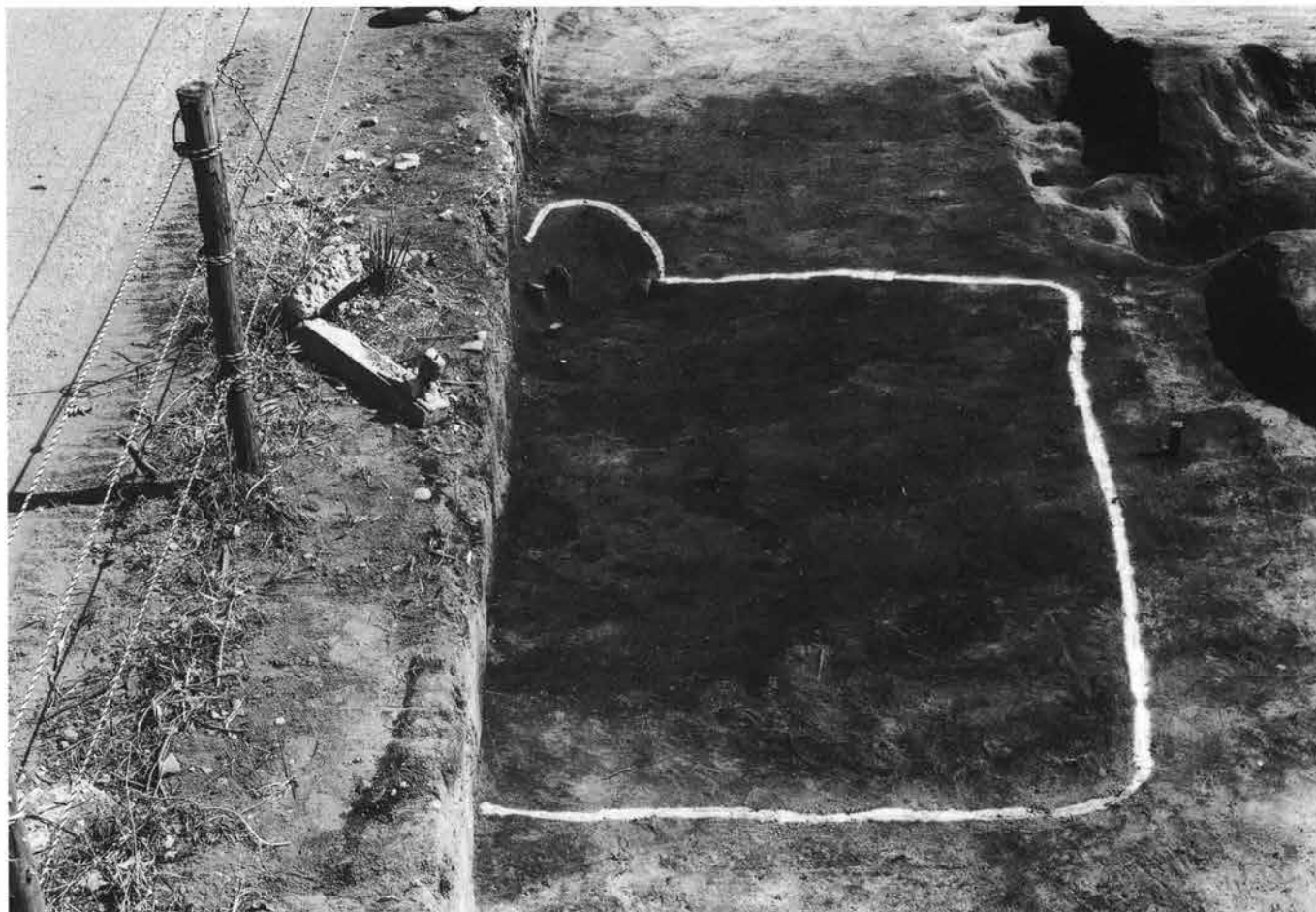
A区15号住居跡掘り方全景(西から)



A区16号住居跡遺物出土状況(西から)



A区16号住居跡掘り方全景(西から)



A区17号住居跡全景(西から)



A区17号住居跡セクション(南から)



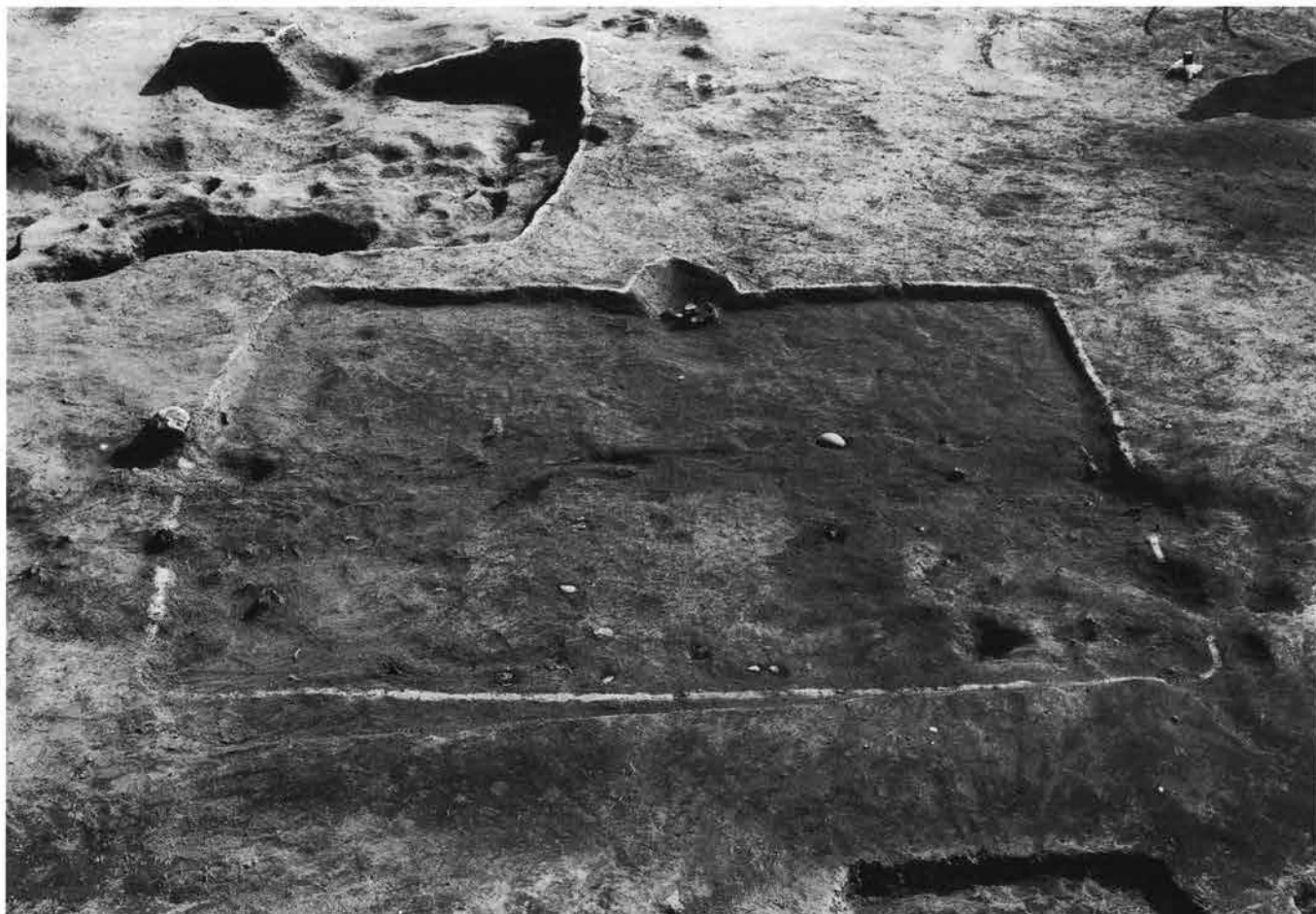
A区17号住居跡竈全景(西から)



A区17号住居跡竈セクション(南から)



A区17号住居跡掘り方全景(西から)



A区20号住居跡全景(西から)



A区20号住居跡セクションA-A' (南から)



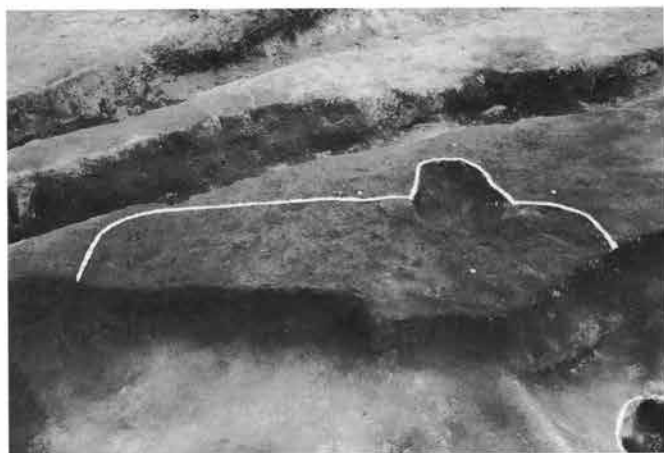
A区20号住居跡遺物出土状況(西から)



A区20号住居跡竈全景(西から)



A区20号住居跡竈セクション(南から)



A区21号住居跡全景(西から)



A区21号住居跡竈全景(西から)



A区21号住居跡竈セクションB-B'(南から)



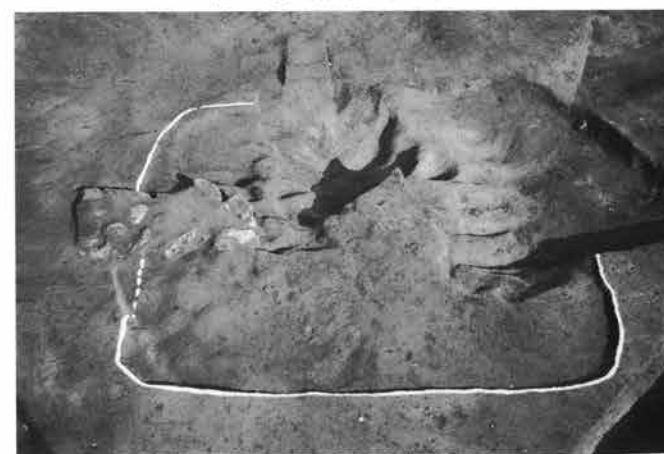
A区21号住居跡掘り方全景(西から)



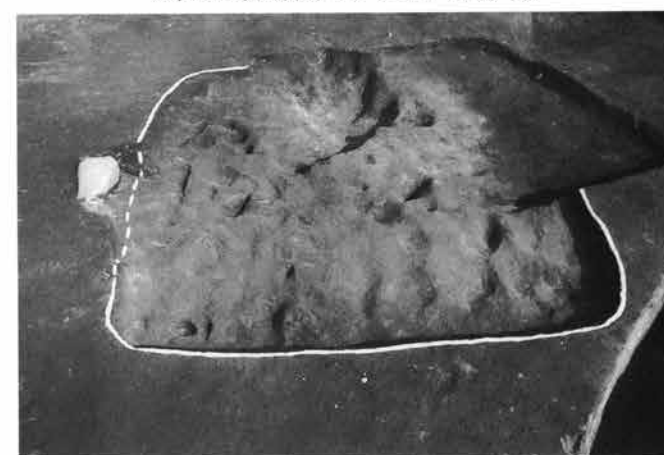
A区22号住居跡全景(西から)



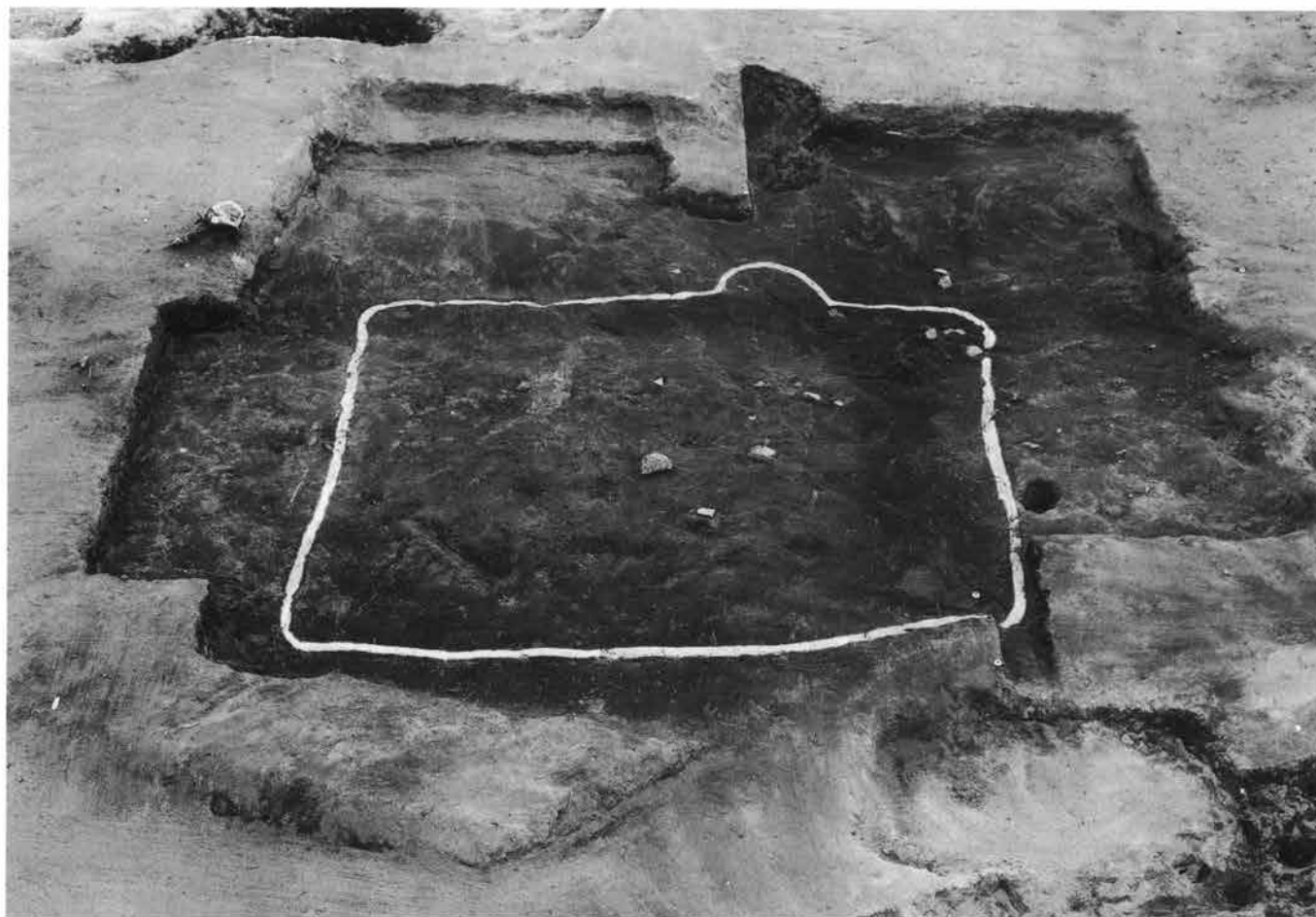
A区22号住居跡セクション(北から)



A区23号住居跡全景(西から)



A区23号住居跡掘り方全景(西から)



A区24号住居跡全景(西から)



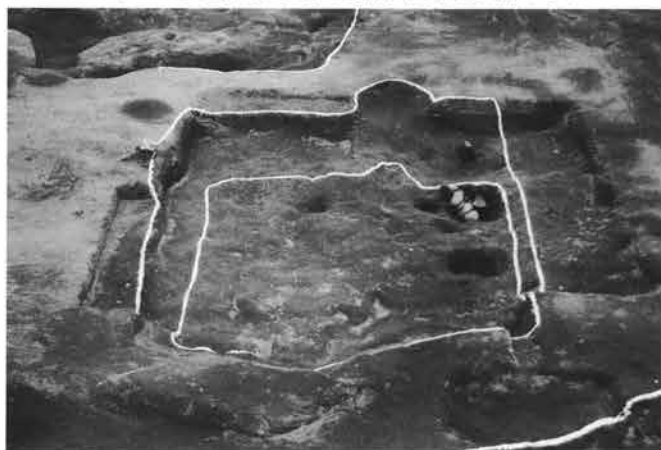
A区20号住居跡・24号住居跡掘り方セクション(東から)



A区24号住居跡貯蔵穴遺物出土状況(西から)



A区24号住居跡遺物出土状況(北から)



A区20号住居跡(外)・24号住居跡(内)掘り方全景(西から)



B区1号住居跡全景(西から)



B区1号住居跡竈セクション(南から)



B区3号住居跡遺物出土状況(北から)



B区3号住居跡竈全景(西から)



B区3号住居跡竈セクションB-B'(南から)



B区4号住居跡全景(北から)



B区4号住居跡セクション(東から)



B区4号住居跡竈全景(北西から)



A区4～7号掘立柱建物跡全景(西から)



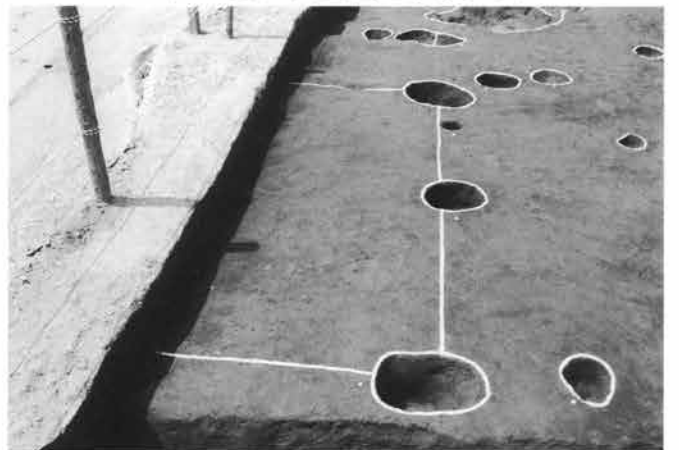
A区4号掘立柱建物跡全景(西から)



A区5号掘立柱建物跡全景(西から)



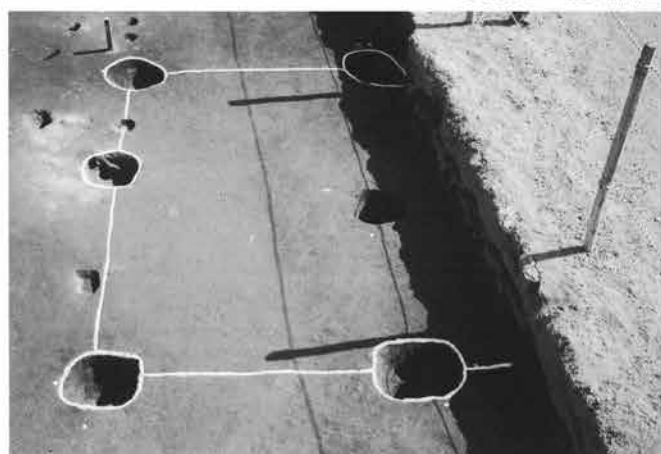
A区6号掘立柱建物跡全景(南から)



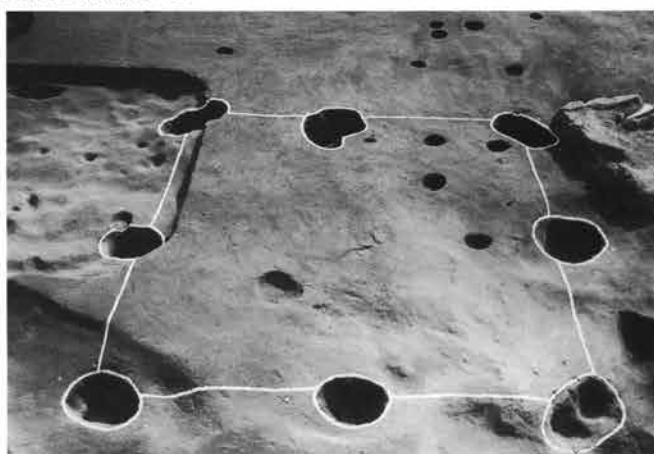
A区7号掘立柱建物跡全景(東から)



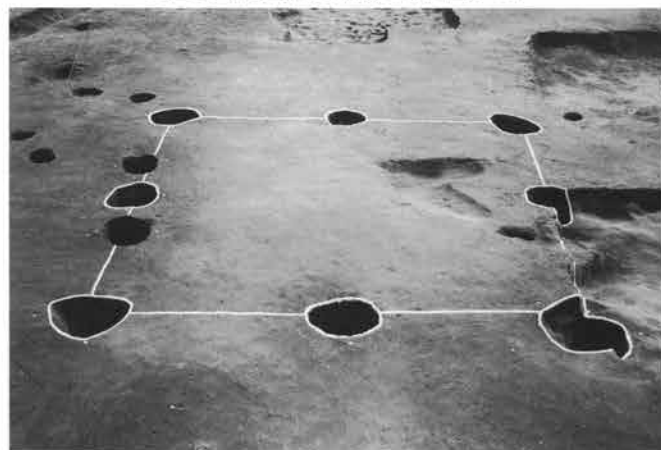
A区8~12号掘立柱建物跡全景(南から)



A区8号掘立柱建物跡全景(西から)



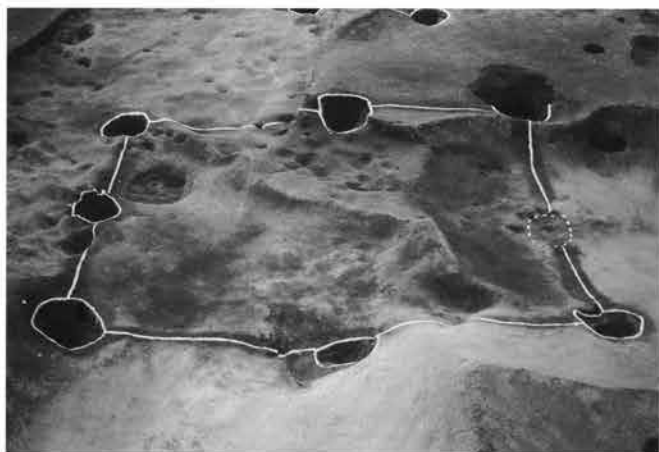
A区9号掘立柱建物跡全景(北から)



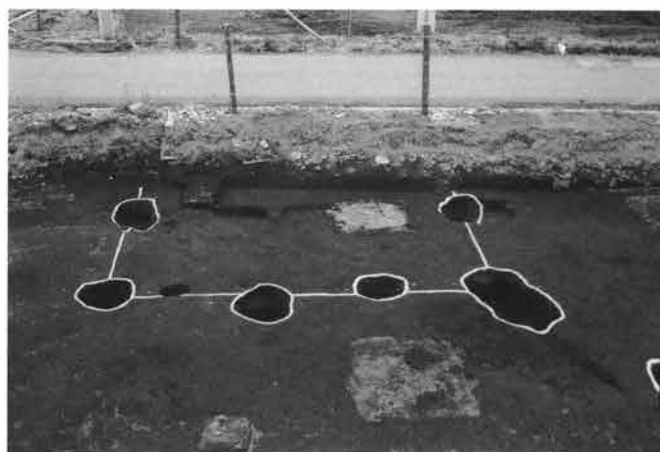
A区10号掘立柱建物跡全景(北から)



A区11号掘立柱建物跡全景(北から)



A区12号掘立柱建物跡全景(東から)



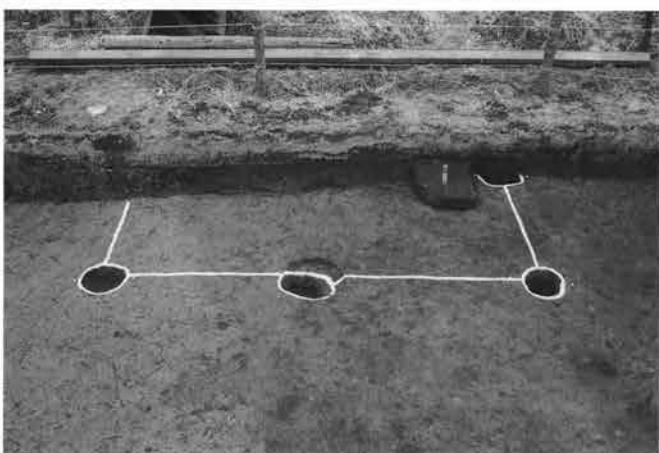
D区1号掘立柱建物跡全景(南から)



D区2号掘立柱建物跡全景(西から)



D区2号掘立柱建物跡P7セクション(西から)



D区3号掘立柱建物跡全景(北から)



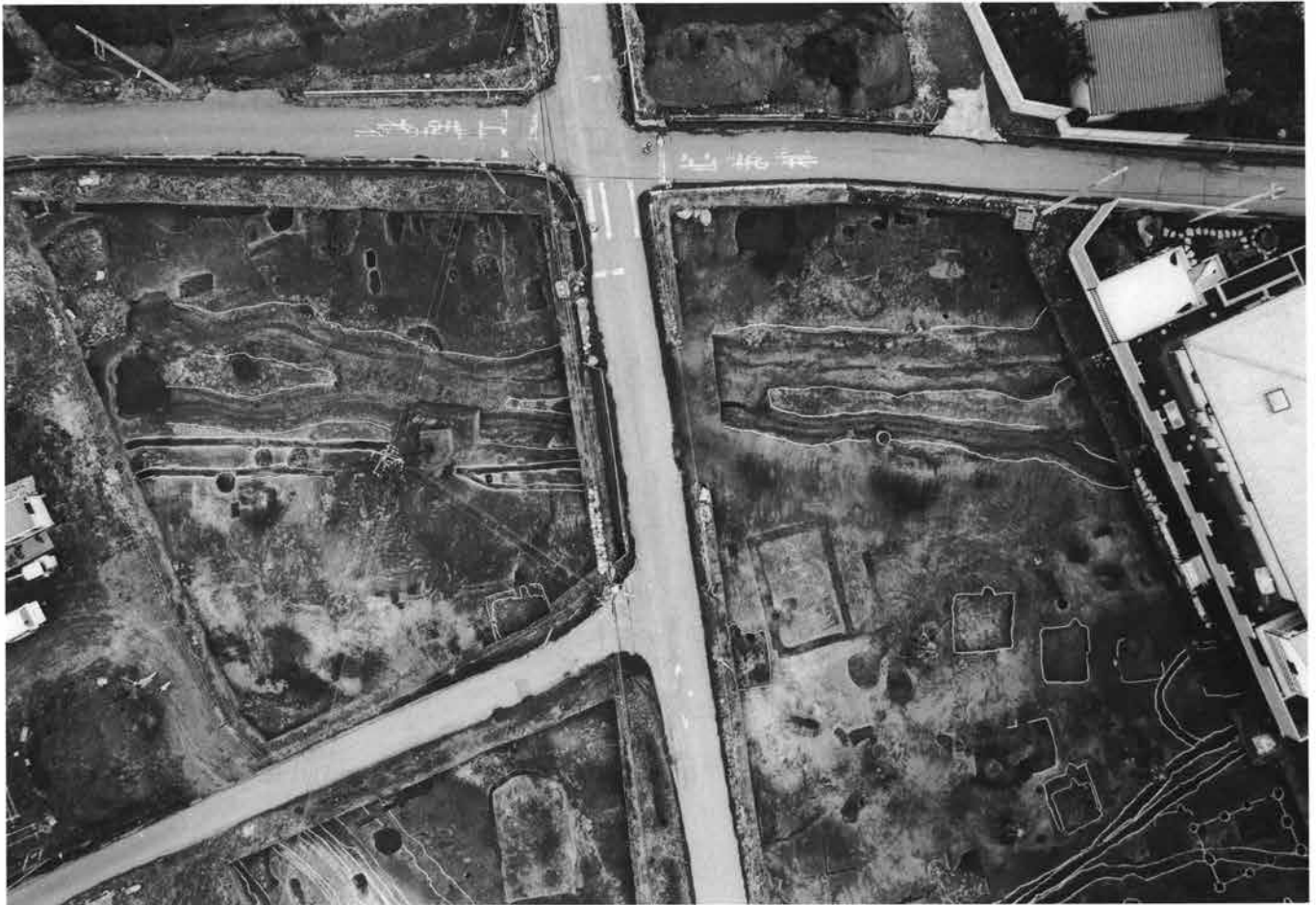
A区9号井戸跡全景(西から)



A区11号井戸跡全景(北から)



A区12号井戸跡全景(東から)



A区20・21号溝(右)・B区1・2号溝(左)全景(西から)



A区20(左)・21(右)号溝全景(北から)



A区20・21号溝セクション(南から)



B区1号溝遺物出土状況(東から)



B区1(左)・2(右)号溝全景(北から)



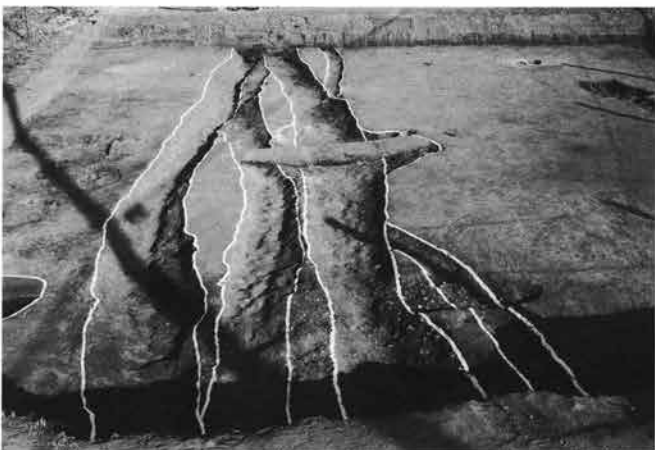
B区3(左)・4(右)号溝全景(北から)



B区4(右)・15(左)号溝全景(南から)



B区4号溝セクション(南から)



B区5(左)・14(中左)・6(中右)・17(右)号溝全景(西から)



B区5・6号溝セクション(東から)



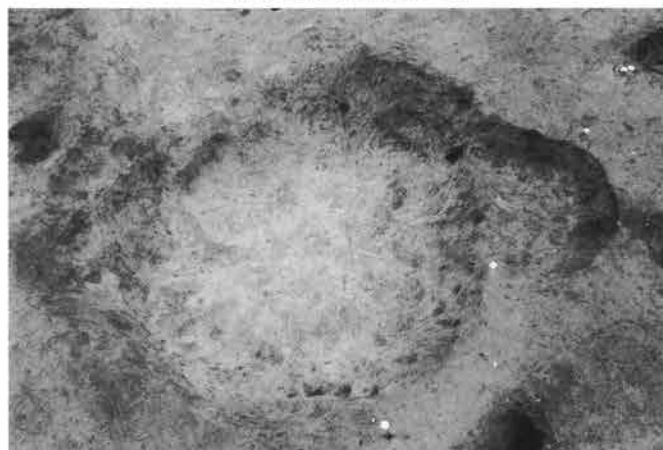
B区16号溝全景(南から)



D区3号溝全景(北から)



D区4号溝全景(北東から)



A区107・122号土坑全景(北東から)



A区141号土坑全景(南から)



A区179号土坑全景(北から)



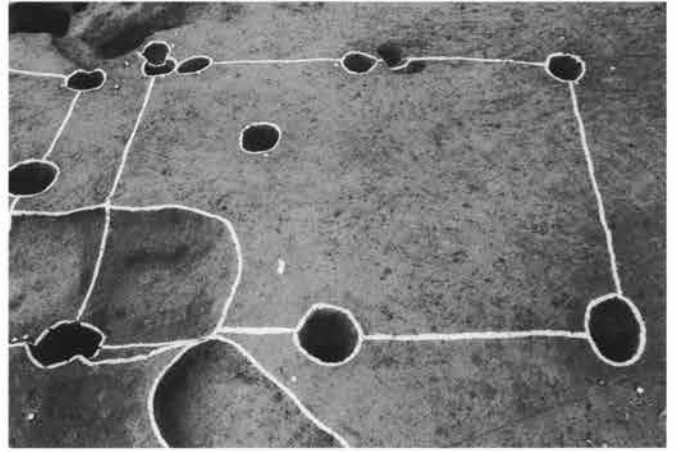
B区1号土坑全景(西から)



B区18号土坑セクション(東から)



A区1号掘立柱建物跡全景(北から)



A区2号掘立柱建物跡全景(北から)



A区1号井戸跡全景(西から)



A区2号井戸跡全景(西から)



A区3号井戸跡全景(西から)



A区4号井戸跡全景(北から)



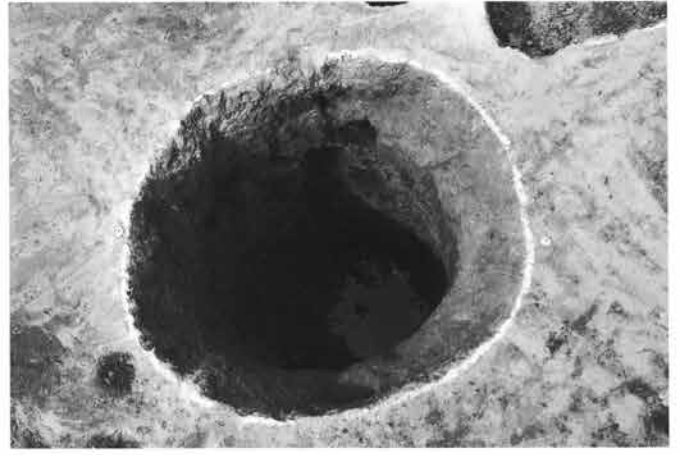
A区5号井戸跡遺物出土状況(北から)



A区5号井戸跡全景(西から)



A区6号井戸跡全景(南から)



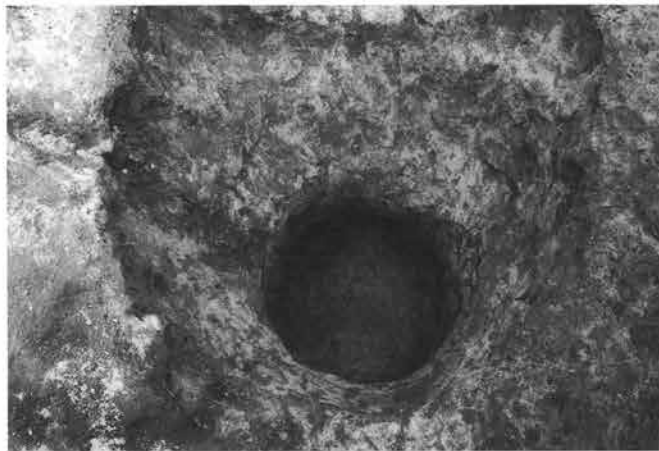
A区7号井戸跡全景(南から)



A区8号井戸跡全景(東から)



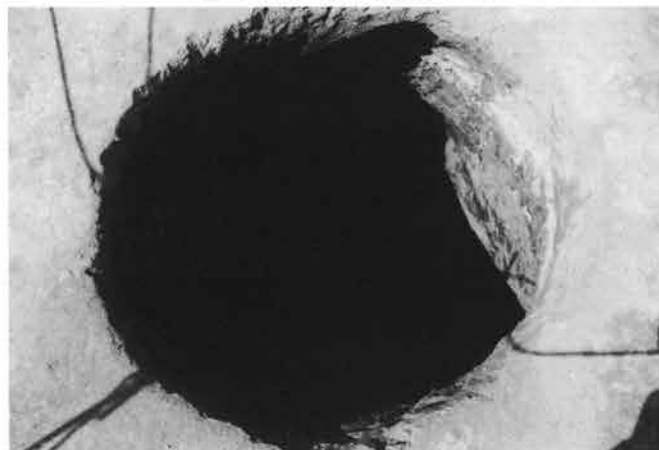
A区10号井戸跡セクション(南から)



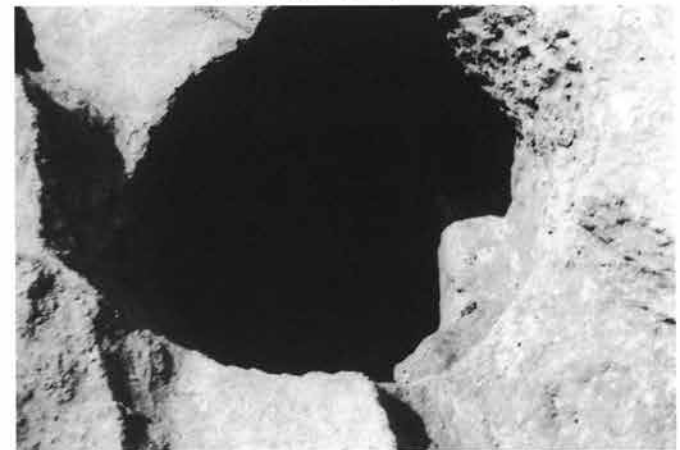
A区13号井戸跡全景(西から)



B区1号井戸跡全景(西から)



C区3号井戸跡全景



C区4号井戸跡全景



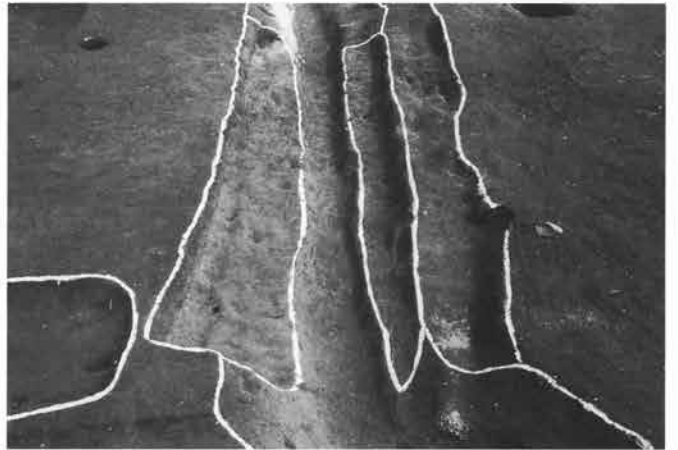
A区1号溝全景(西から)



A区2・3・4・5号溝全景(西から)



A区3号溝全景(東から)



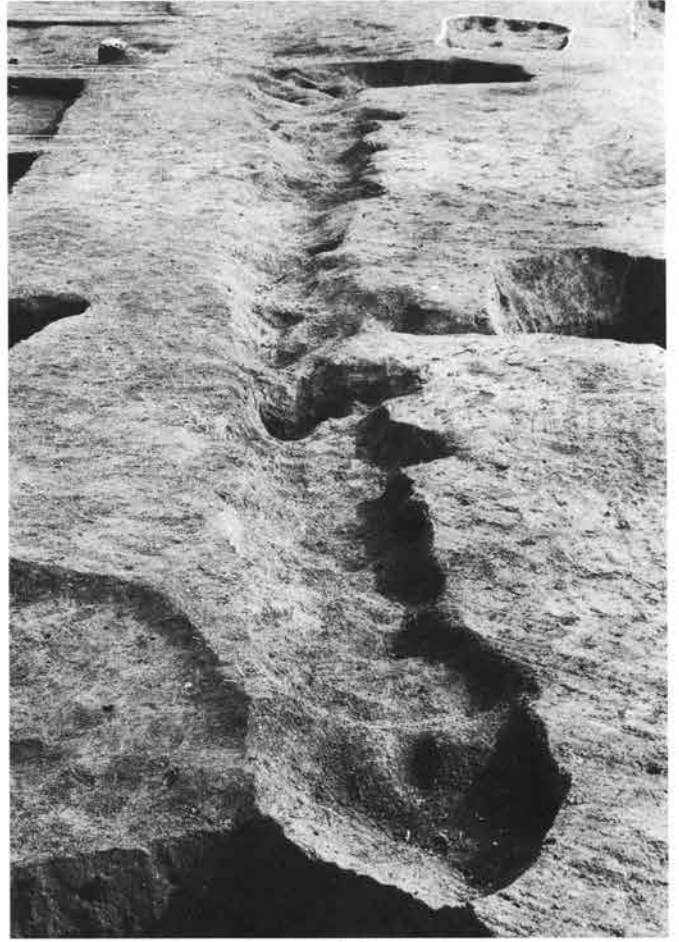
A区5号溝全景(南から)



A区4・5・7・8・9・10・11・12号溝全景(西から)



A区14号溝全景(北から)



A区15号溝全景(北から)



A区16号溝全景(北西から)



A区17号溝全景(北から)



A区18号溝全景(東から)



A区19号溝全景(西から)



A区22・23・24・25号溝全景(北から)



A区25号溝馬歯出土状況(西から)



B区7(右)・8・9・10・11・12(左)号溝全景(東から)



B区10・11・12号溝セクション(東から)



B区13号溝全景(東から)



C区1号溝全景(北西から)



C区2号溝全景(南から)



C区4・5号溝全景(南東から)



C区3号溝全景(南西から)



C区6号溝全景(西から)



C区7号溝全景(西から)



C区8・9号溝全景(南から)



C区10・11・32号溝全景(南から)



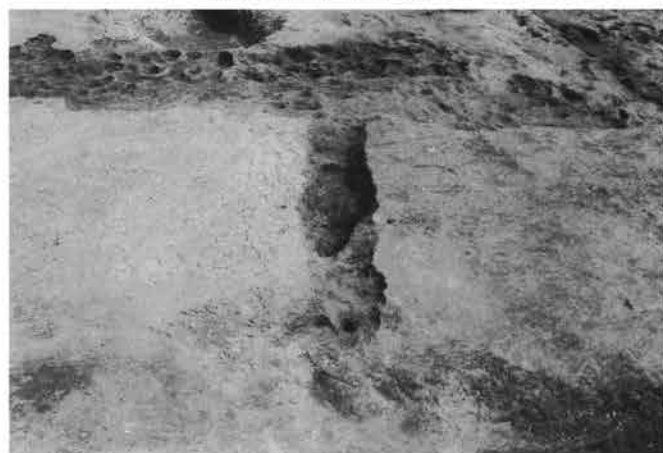
C区12・29・30号溝全景(北から)



C区12号溝全景(南から)



C区13号溝全景(西から)



C区16号溝全景(南から)



C区15号溝全景(南から)



C区14・18・19号溝全景(西から)



C区17号溝全景(西から)



C区20号溝全景(東から)



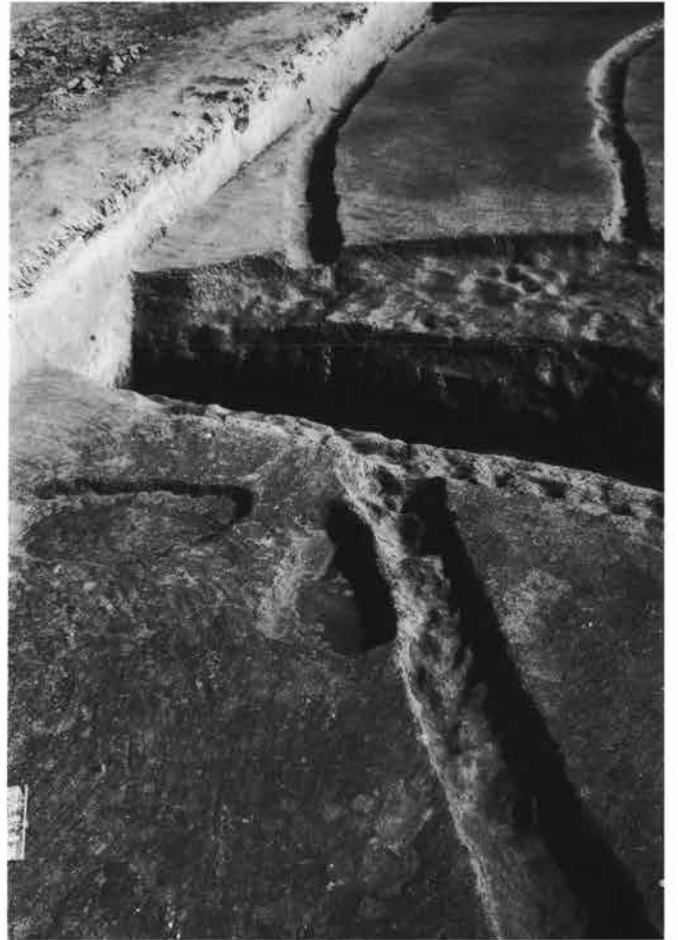
C区21号溝全景(西から)



C区21号溝全景(西から)



C区22(右)・23(中)・24(左)号溝全景(西から)



C区31号溝全景(西から)



C区25・26・27・28号溝全景(西から)



C区33号溝全景(北から)



D区1(右)・2(左)号溝全景(南から)



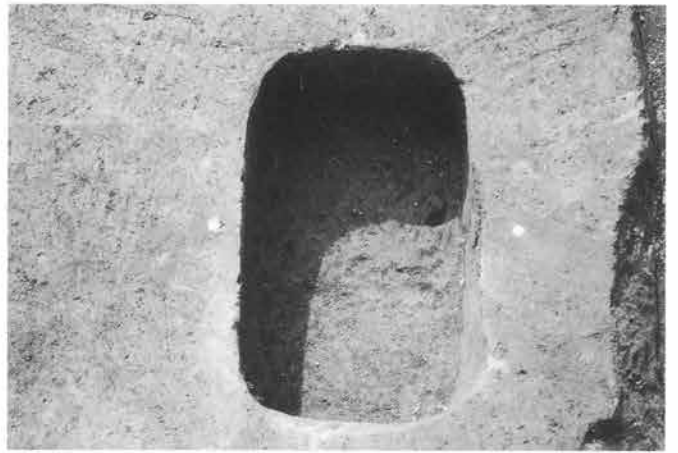
A区2号土坑全景(東から)



A区3号土坑全景(東から)



A区4号土坑全景(南東から)



A区5号土坑全景(東から)



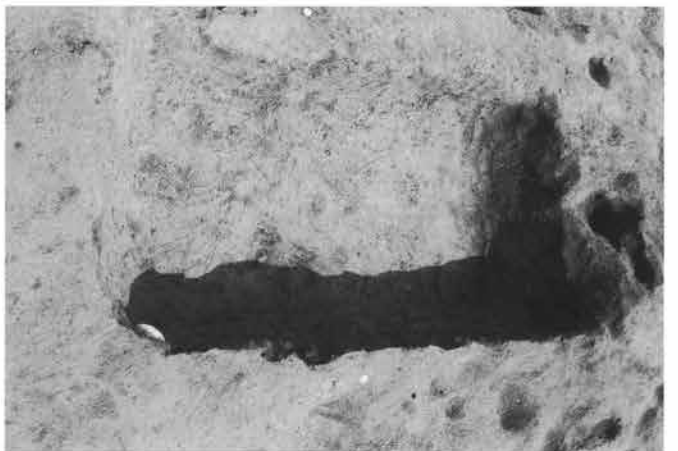
A区6号土坑全景(北から)



A区7号土坑全景(北から)



A区9号土坑全景(北東から)



A区10号土坑全景(西から)



A区12号土坑全景(西から)



A区15号土坑全景(南西から)



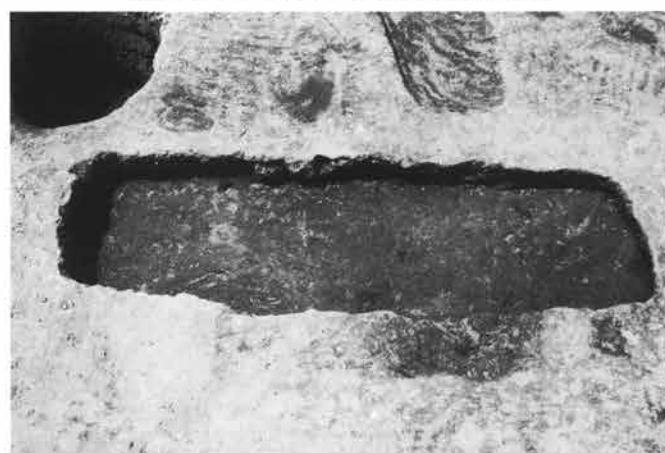
A区17号土坑全景(北から)



A区18(右)・19(左)号土坑全景(東から)



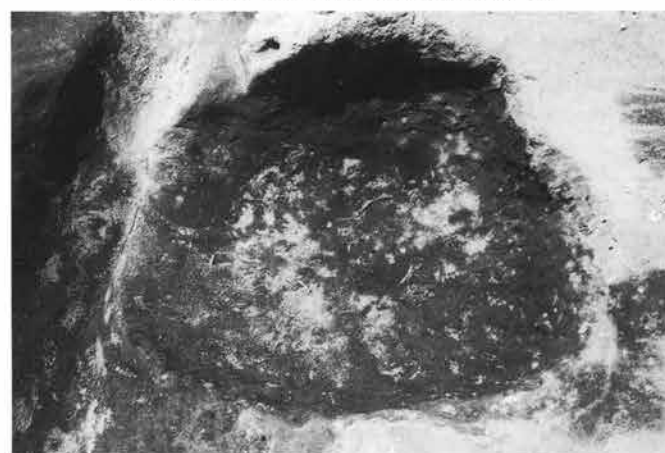
A区20(右)・21(左)号土坑全景(北から)



A区22(大)・28(小)号土坑全景(東から)



A区23(右)・24(左)号土坑全景(北から)



A区25号土坑全景(東から)



A区29号土坑全景(北から)



A区31号土坑全景(北から)



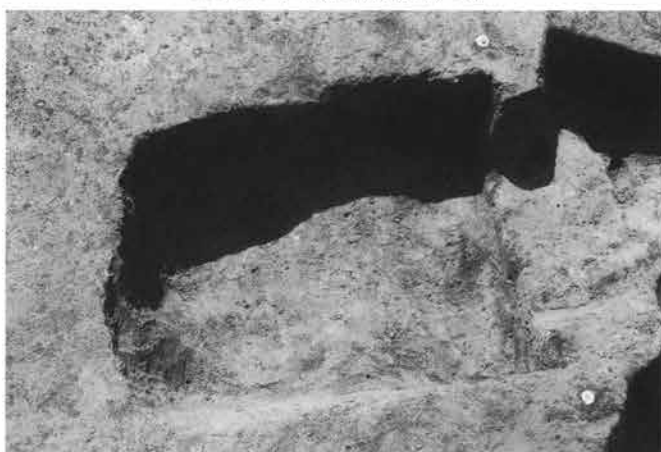
A区33号土坑全景(北から)



A区34号土坑全景(南から)



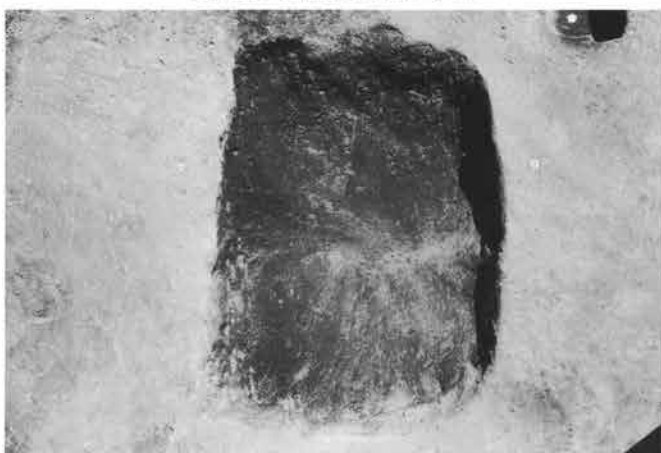
A区35号土坑全景(東から)



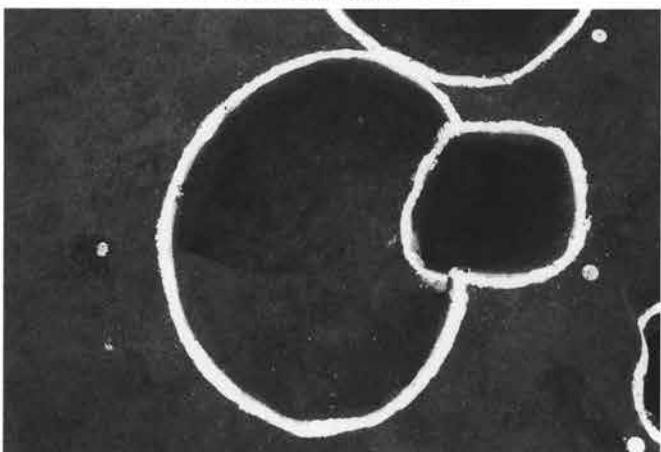
A区36号土坑全景(東から)



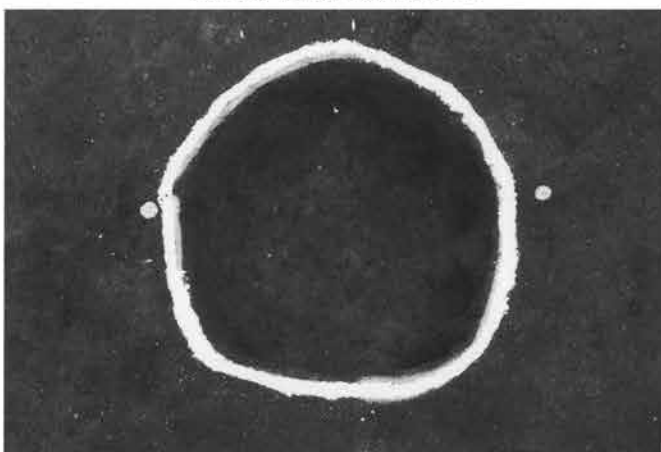
A区38号土坑全景(西から)



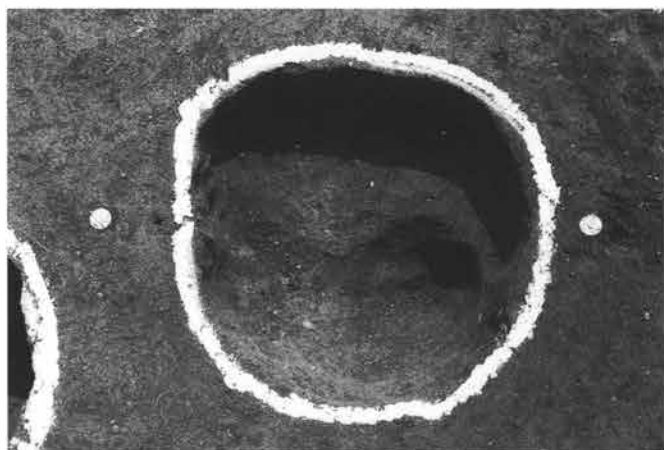
A区39号土坑全景(北から)



A区42号土坑・38号ピット全景(北東から)



A区43号土坑全景(北から)



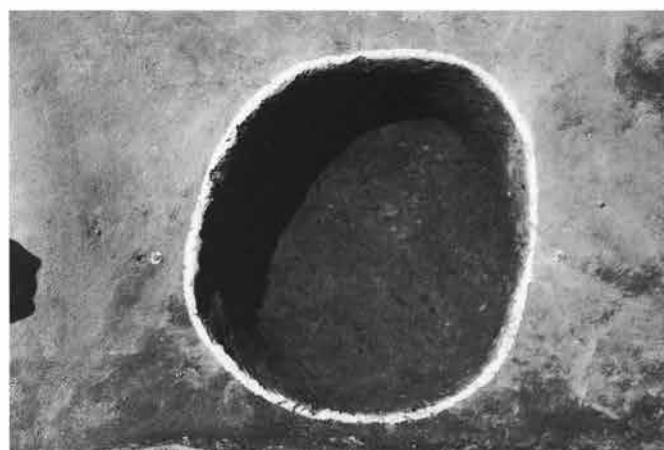
A区44号土坑全景(西から)



A区45号土坑全景(南から)



A区47号土坑全景(北から)



A区48号土坑全景(北から)



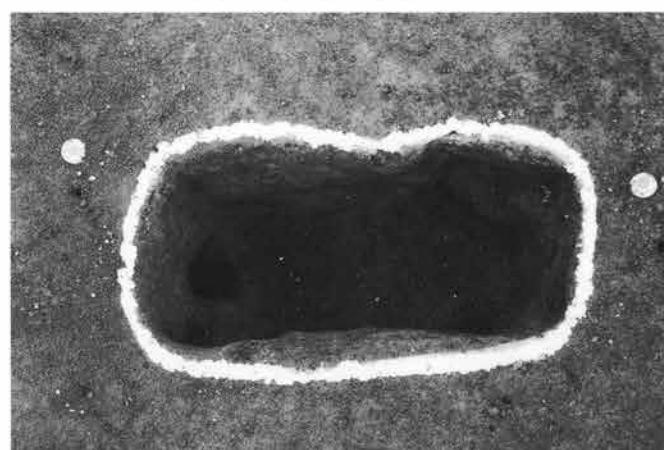
A区49号土坑全景(北から)



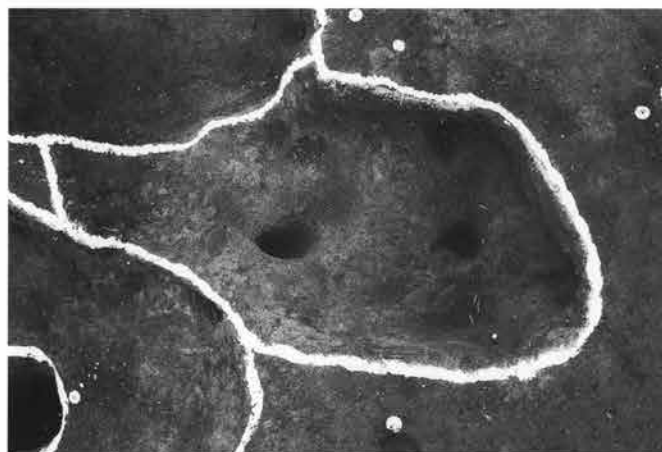
A区50号土坑全景(北から)



A区52号土坑全景(東から)



A区56号土坑全景(東から)



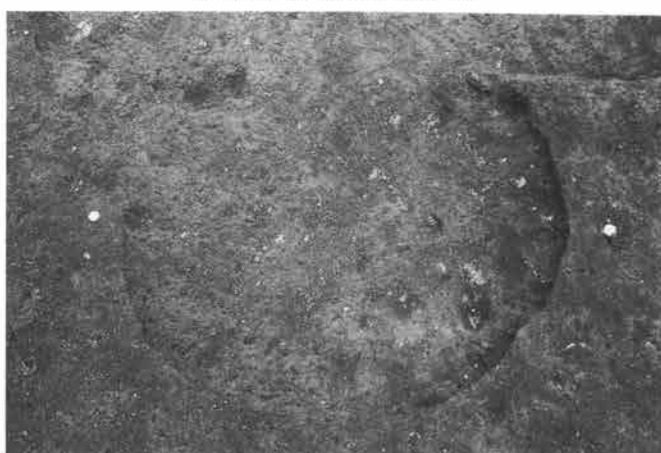
A区58号土坑全景(北から)



A区60号土坑全景(北から)



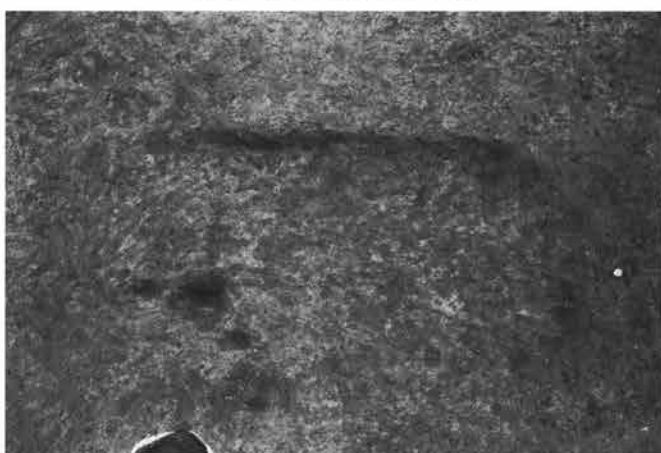
A区62号土坑全景(東から)



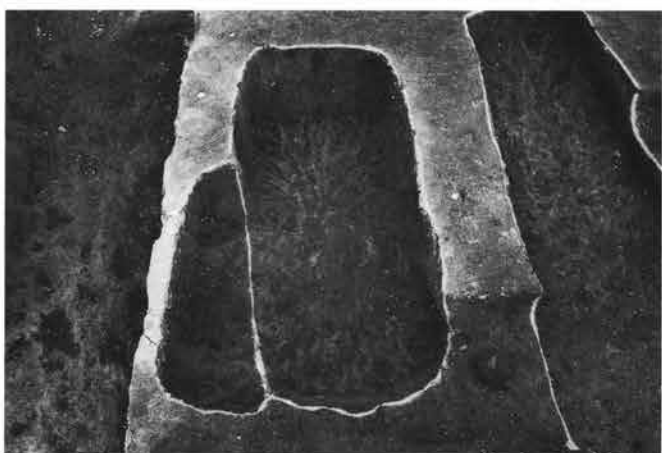
A区63号土坑全景(南から)



A区64号土坑全景(西から)



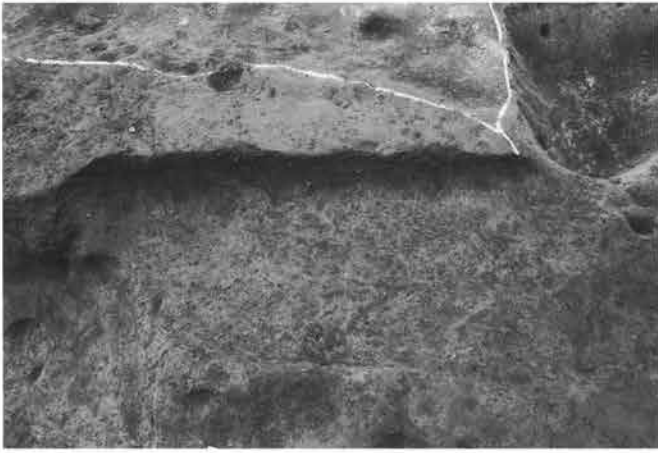
A区66号土坑全景(西から)



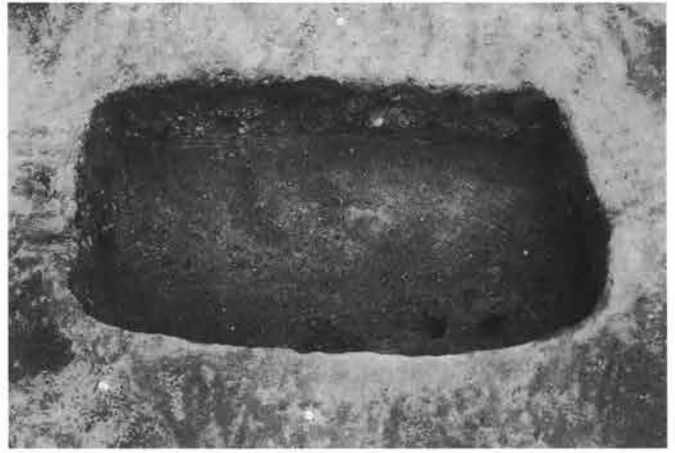
A区67号土坑全景(南から)



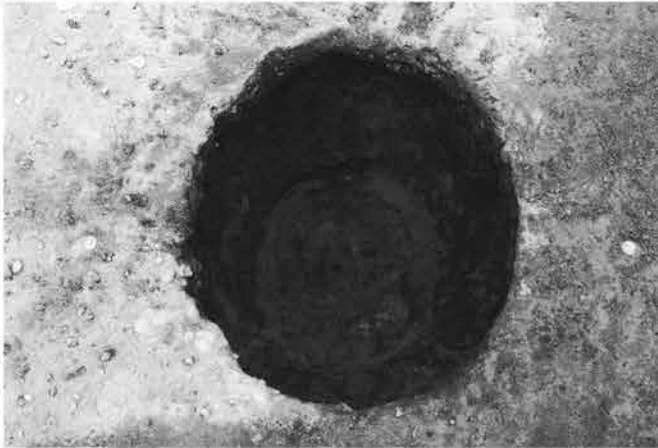
A区69号土坑全景(西から)



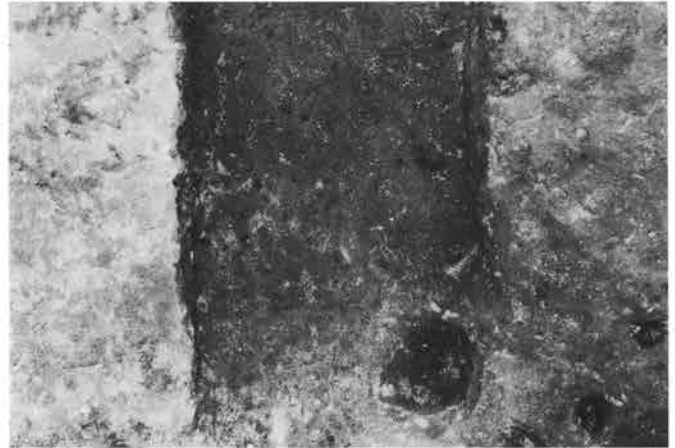
A区73号土坑全景(東から)



A区74号土坑全景(西から)



A区75号土坑全景(南から)



A区77号土坑全景(西から)



A区78号土坑全景(西から)



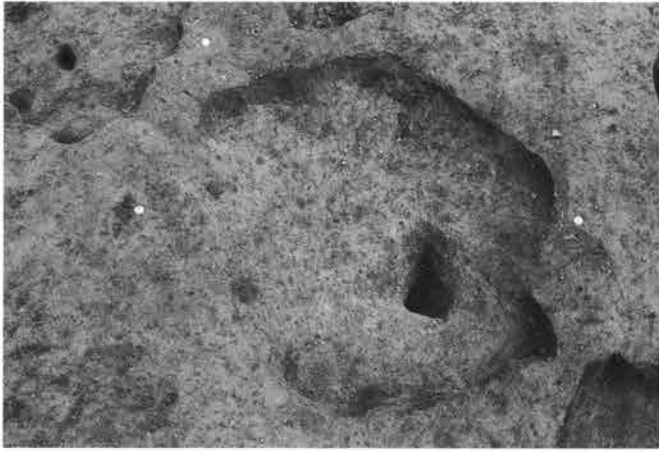
A区81号土坑全景(東から)



A区82号土坑全景(北から)



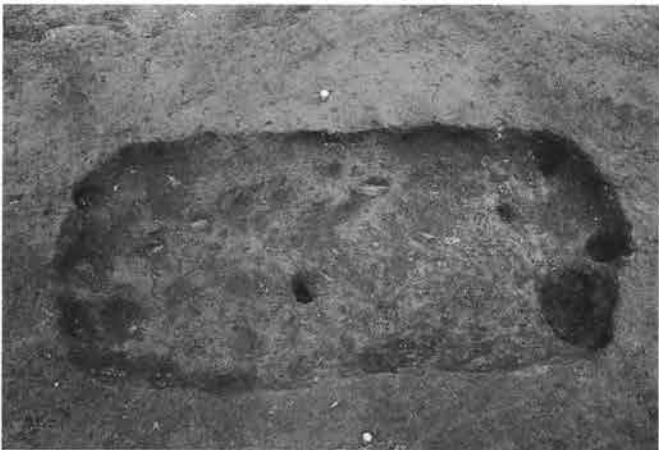
A区83号土坑全景(南から)



A区86号土坑全景(北から)



A区87号土坑全景(北から)



A区88号土坑全景(東から)



A区89号土坑全景(西から)



A区90・91・92・93号土坑全景(東から)



A区94号土坑全景(東から)



A区97(右)・98(左)号土坑全景(北から)



A区99(左)・100(右)号土坑全景(北から)



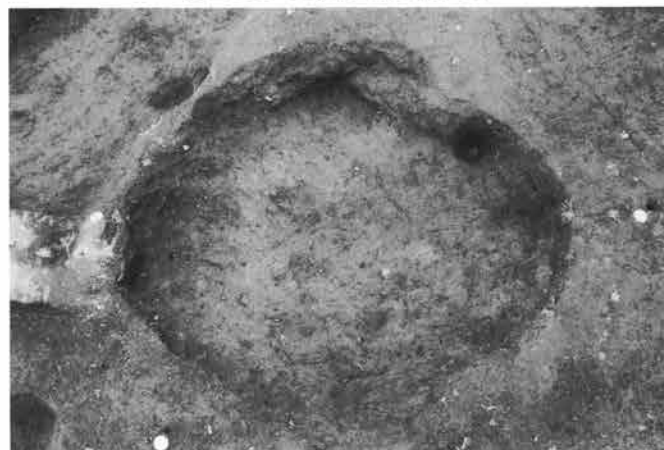
A区101号土坑全景(東から)



A区104号土坑全景(北から)



A区108号土坑全景(西から)



A区111号土坑全景(北東から)



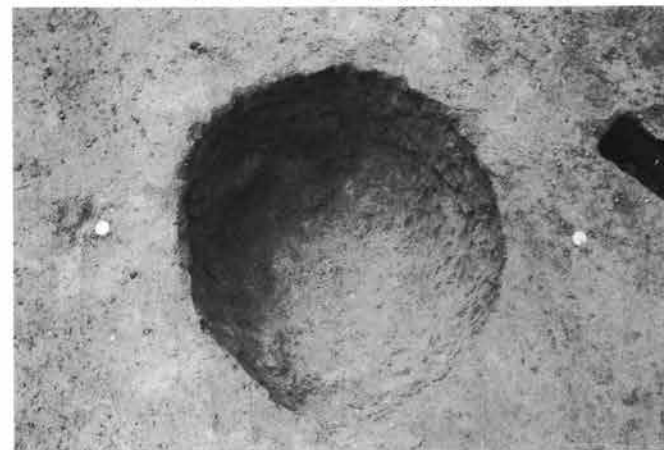
A区112号土坑全景(北東から)



A区117(右)・118(左)号土坑全景(西から)



A区119号土坑全景(東から)



A区128号土坑全景(北から)



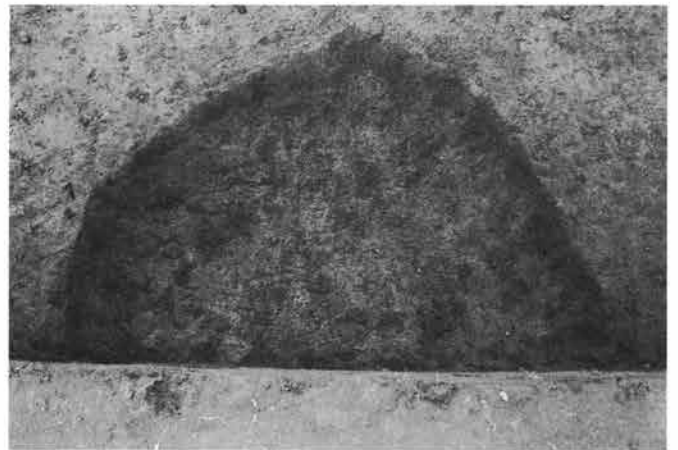
A区130号土坑全景(北から)



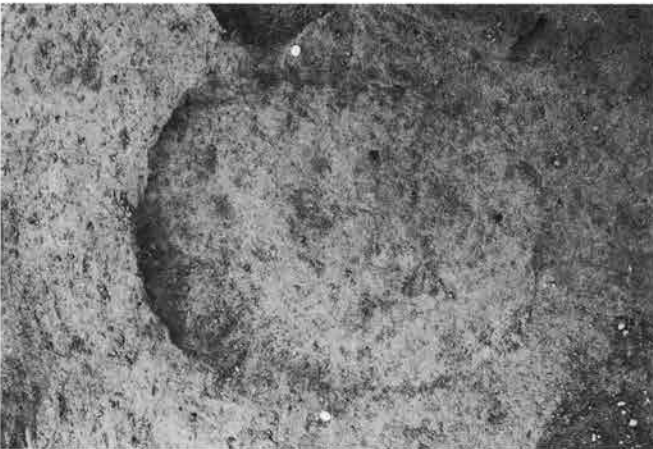
A区132号土坑全景(北から)



A区133号土坑全景(西から)



A区140号土坑全景(南から)



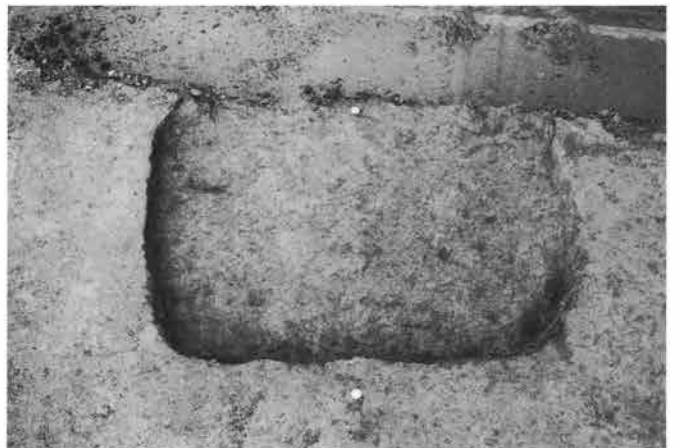
A区142号土坑全景(東から)



A区150(右)・11(左)号土坑全景(西から)



A区152(中)・153(右)・154(左)号土坑全景(南から)



A区156号土坑全景(西から)



A区157号土坑全景(南から)



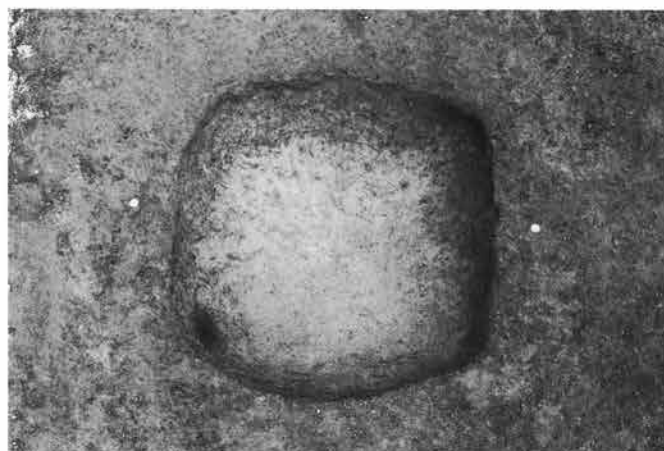
A区158・159・160・161号土坑全景(西から)



A区162号土坑全景(西から)



A区163(右)・169(左)号土坑全景(北から)



A区164号土坑全景(南から)



A区165号土坑全景(南から)



A区171号土坑全景(北から)



A区172号土坑全景(北から)



A区176(下)・177(上)号土坑全景(東から)



A区180号土坑全景(北から)



A区183号土坑全景(東から)



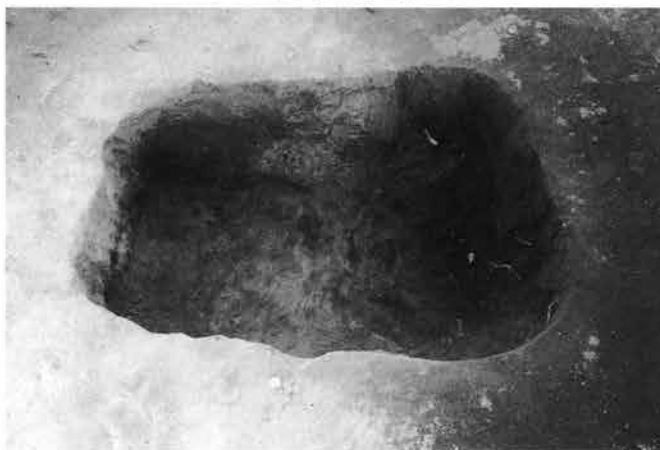
B区2号土坑全景(南から)



B区3号土坑全景(南から)



B区4号土坑全景(南から)



B区5号土坑全景(北から)



B区6号土坑全景(南から)



B区7号土坑全景(南から)



B区8(大)・9(小)号土坑全景(東から)



B区10・11・12・13号土坑全景(西から)



C区5号土坑全景(東から)



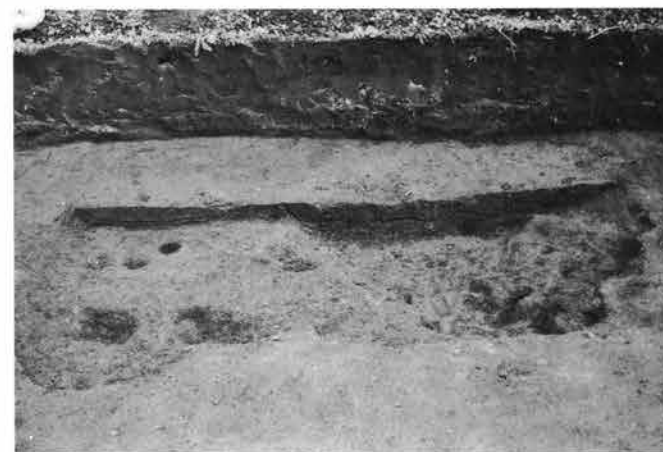
C区6号土坑全景(西から)



C区7号土坑全景(東から)



C区9号土坑全景(西から)



C区10(左)・11(右)号土坑全景(西から)



C区12号土坑全景(北から)



C区13号土坑全景(南から)



C区14号土坑全景(南から)



C区15号土坑全景(南から)



C区17号土坑全景(南から)



C区18号土坑全景(南から)



C区19号土坑全景(西から)



C区20号土坑全景(北から)



C区21号土坑全景(北から)



C区22号土坑全景(南西から)



C区23号土坑全景(西から)



C区26号土坑全景(西から)



C区27号土坑全景(南から)



C区28号土坑全景(南から)



C区30号土坑全景(北から)



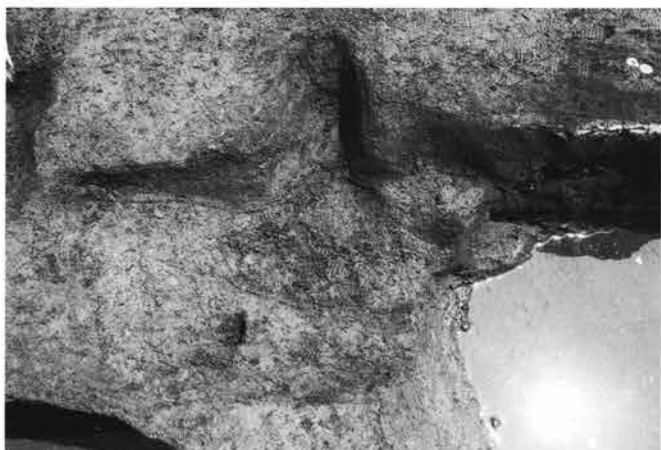
C区31号土坑全景(北から)



C区32号土坑全景(東から)



D区1号土坑全景(東から)



A区1号火葬遺構全景(西から)



A区1号火葬遺構セクション(南から)



A区1・2号柱穴列全景(西から)



A区1号地下式土坑全景(東から)



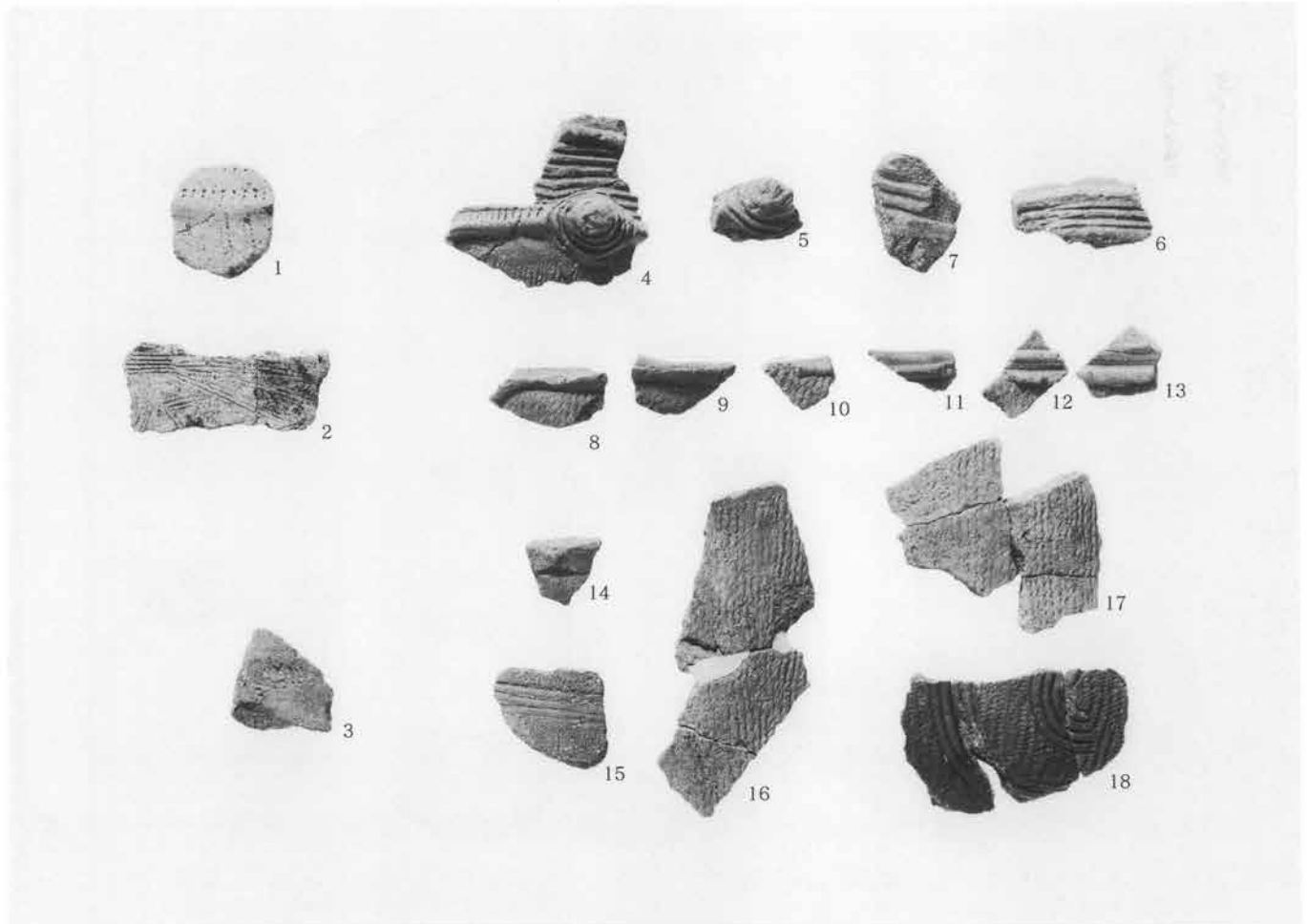
A区2号竪穴状遺構全景(南東から)



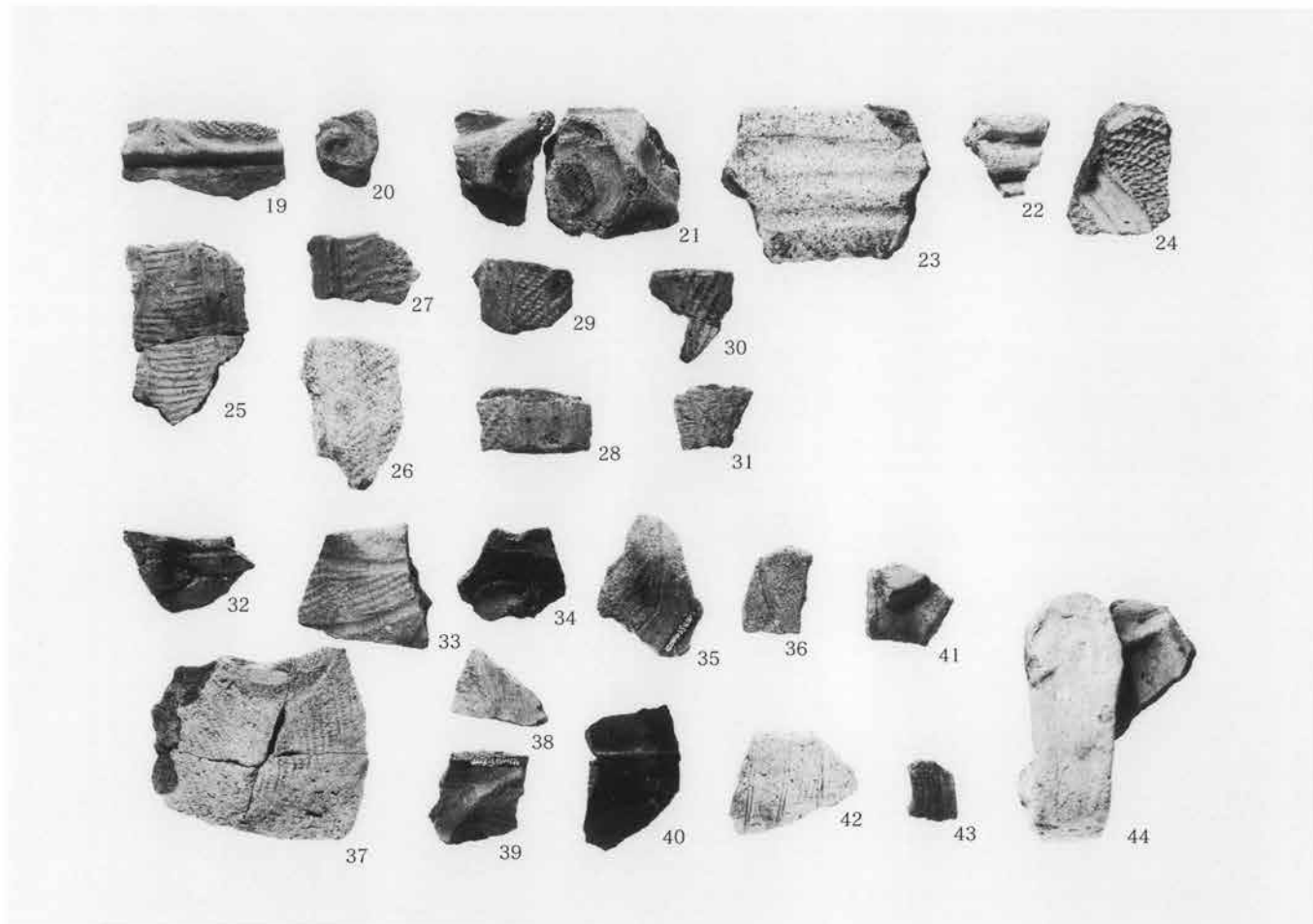
A区3号竪穴状遺構全景(南東から)



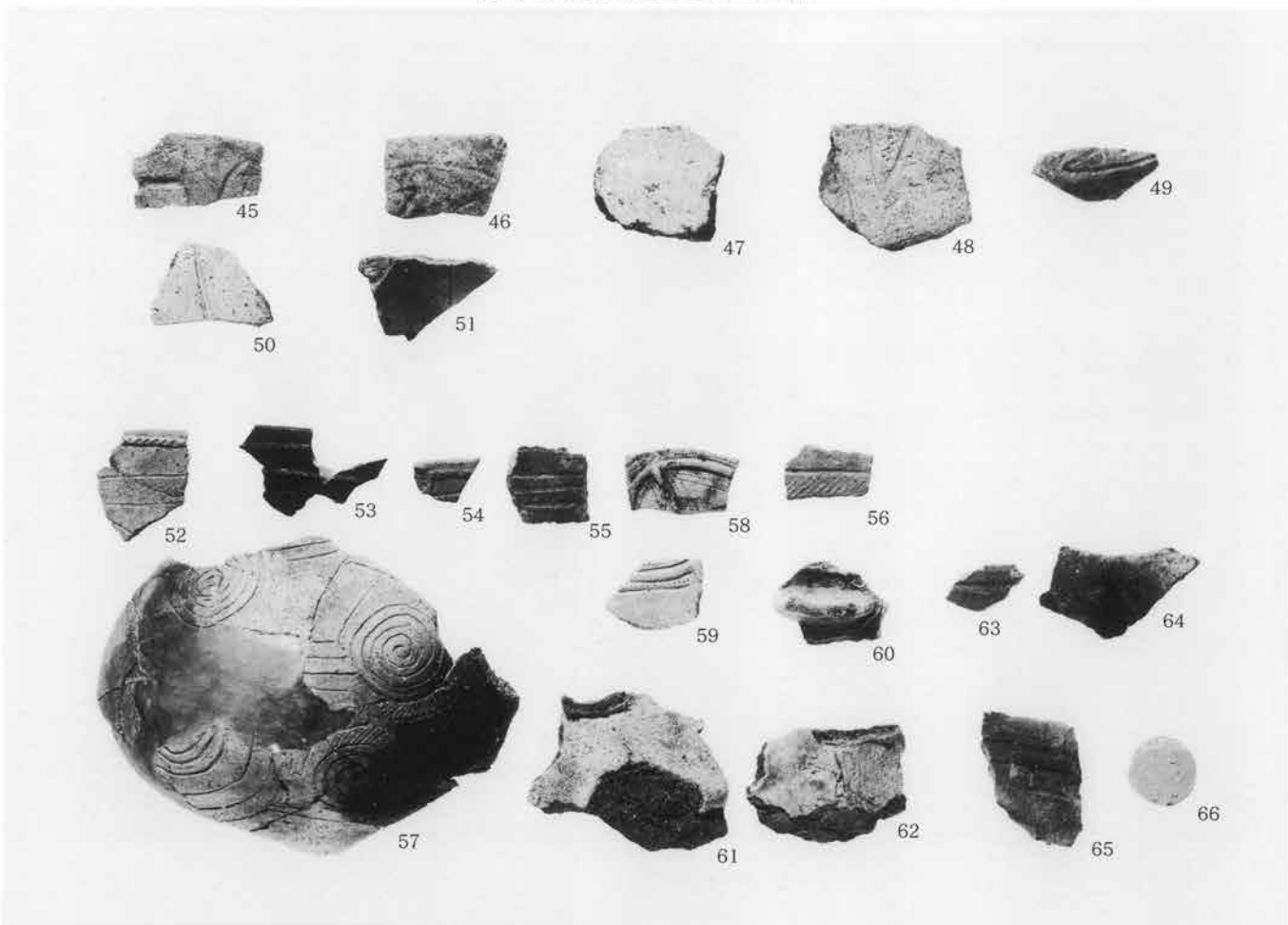
A区1号埋甕出土土器



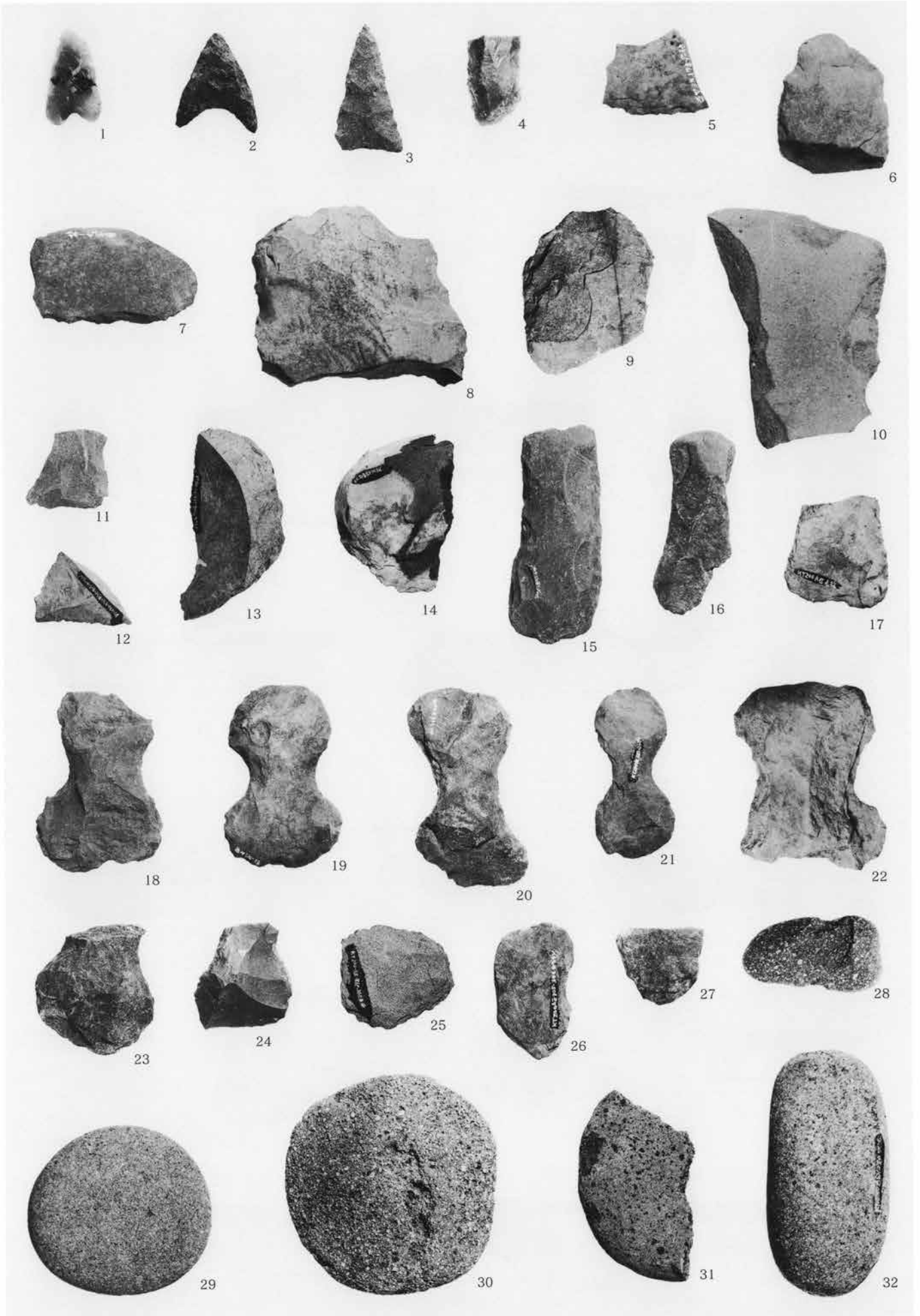
縄文時代遺構外出土土器(第I・II群)



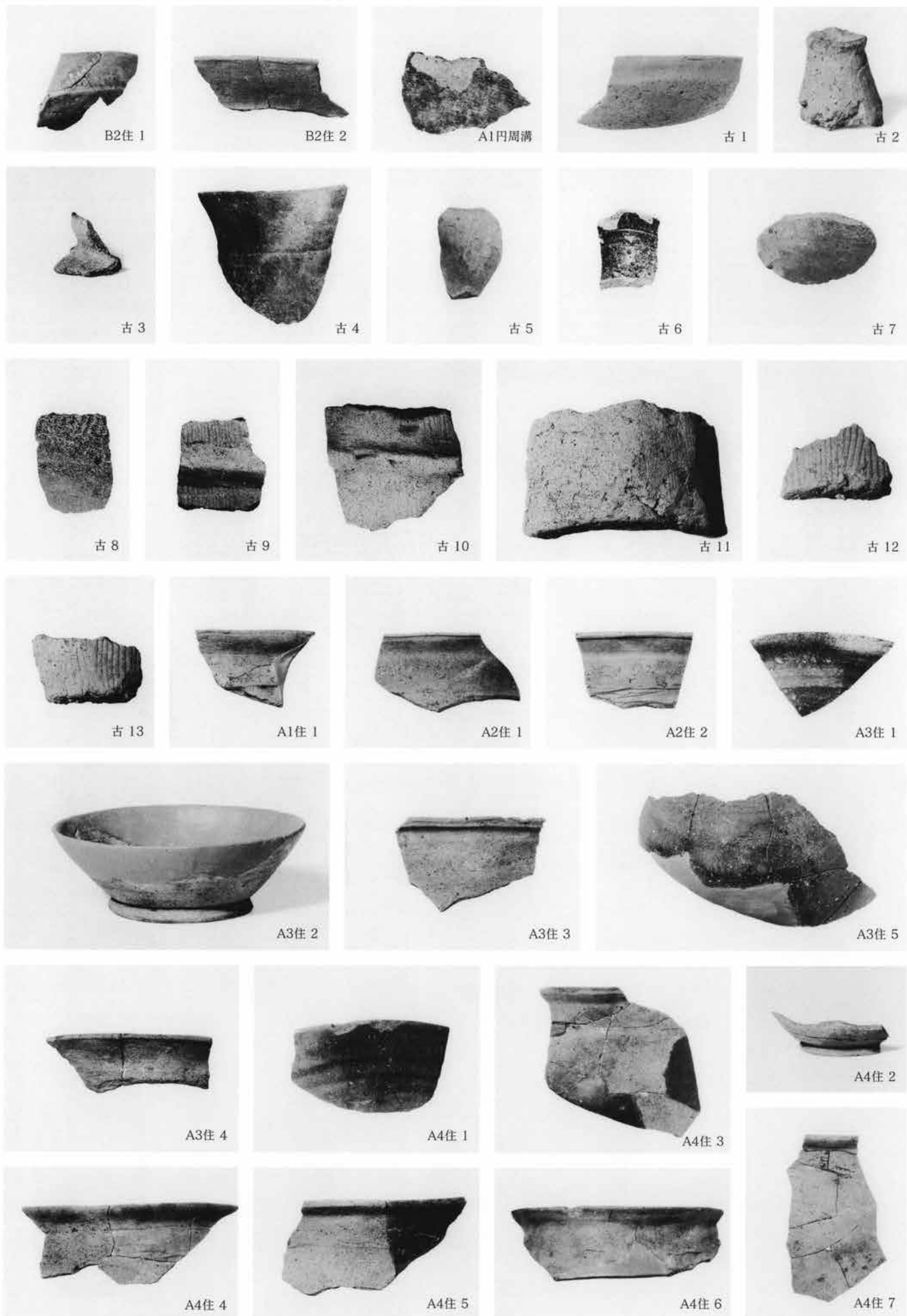
縄文時代遺構外出土土器(第Ⅲ群)



縄文時代遺構外出土土器(第Ⅳ～Ⅷ群)



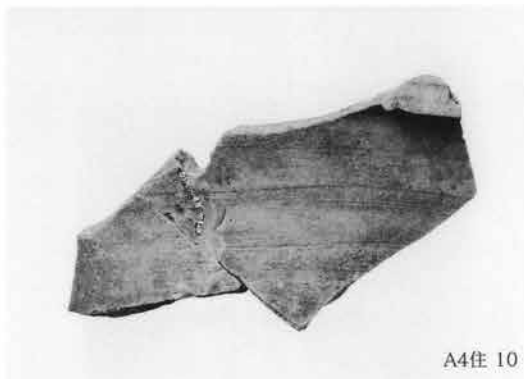
縄文時代遺構外出土石器



B区2号住居跡、A区1号円形周溝遺構、古墳時代遺構外、A区1・2・3・4号住居跡出土遺物



A4住 8



A4住 10



A4住 11



A4住 9



A5住 1



A5住 2



A5住 3



A5住 4



A5住 5



A5住 7



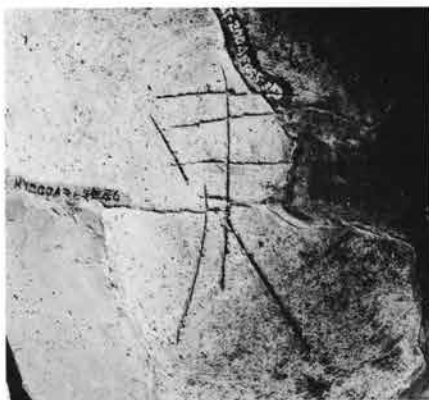
A5住 8



A5住 6



A6住 1



A5住 9



A6住 4



A6住 2



A6住 5



A6住 3

A区4・5・6号住居跡出土遺物



A6住 6



A6住 7



A7住 1



A7住 2



A7住 3



A7住 5



A7住 6



A7住 4



A7住 7



A7住 8



A7住 9



A7住 11



A7住 12



A7住 10



A7住 16



A7住 13



A7住 15



A7住 17



A7住 14

A区6·7号住居跡出土遺物



A区7·8·9·10号住居跡出土遺物



A区10・11号住居跡出土遺物



A11住 14



A11住 16



A12住 1



A12住 2



A11住 15



A12住 3



A12住 4



A12住 5



A12住 7



A12住 8



A12住 6



A12住 10



A12住 12



A12住 9



A12住 11



A12住 13

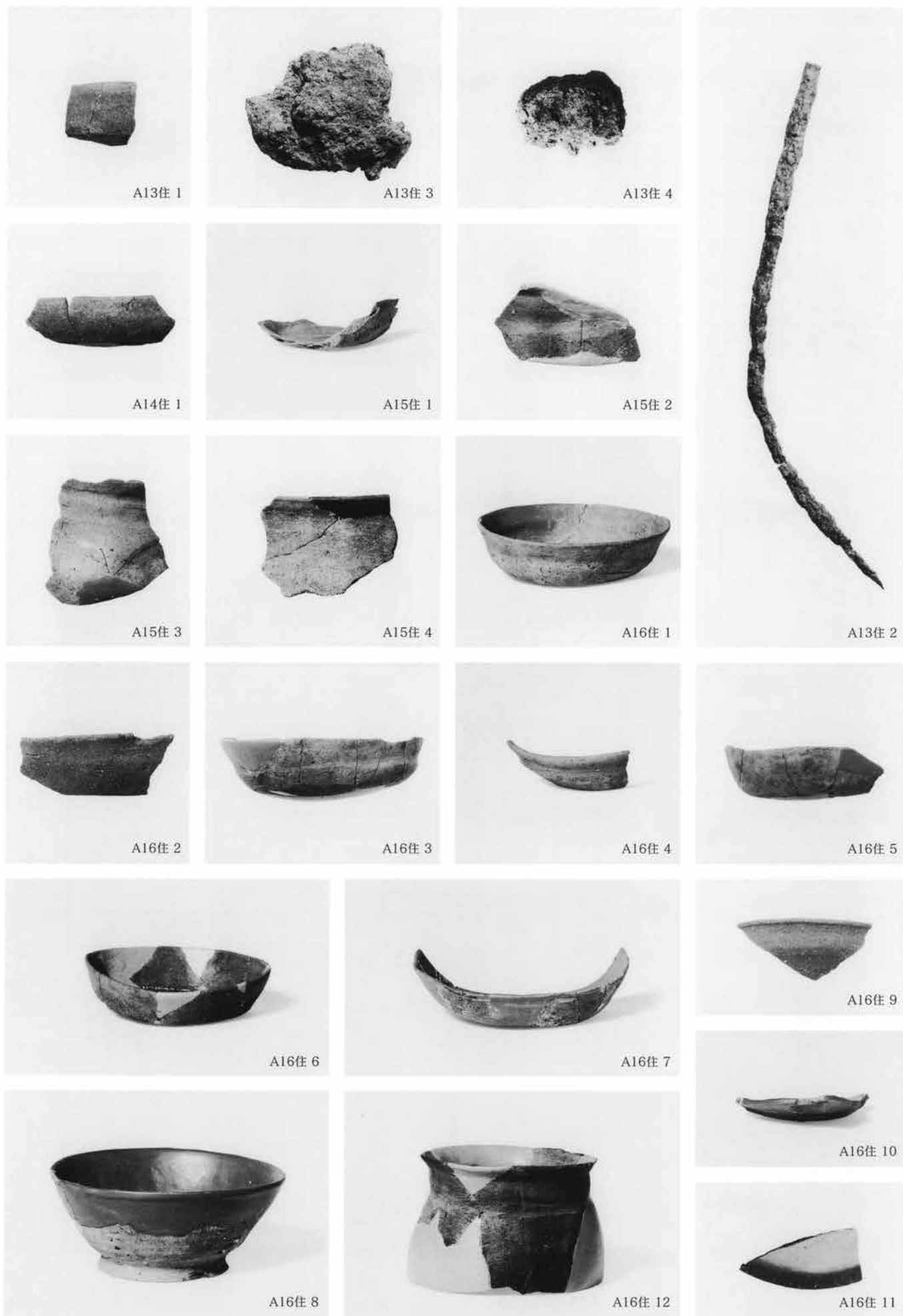


A12住 14

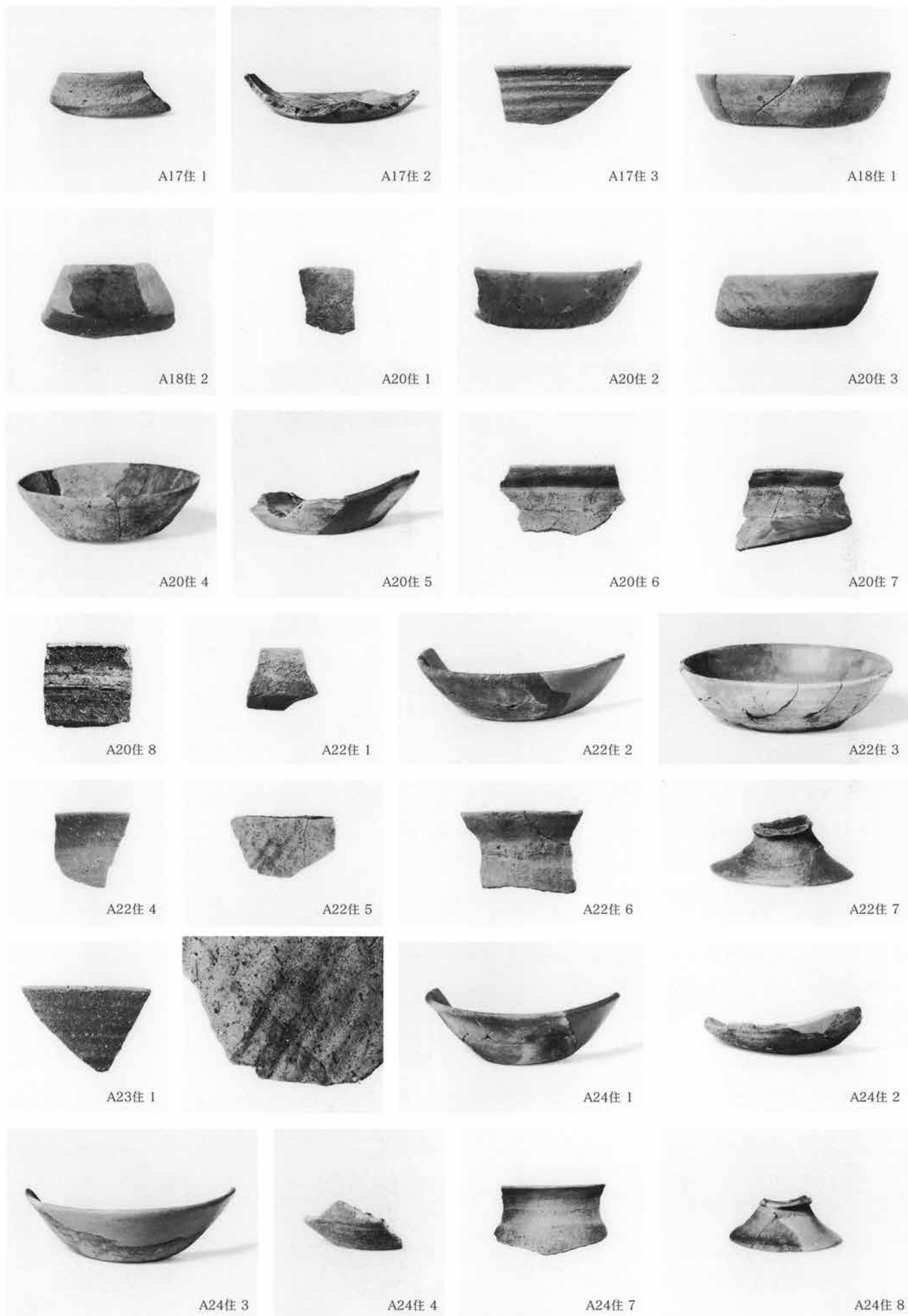


A12住 15

A区11·12号住居跡出土遺物



A区13·14·15·16号住居跡出土遺物



A区17·18·20·22·23·24号住居跡出土遺物



A24住 5



A24住 6



A24住 9



B3住 1



B3住 2



B3住 3



B3住 4



B3住 5



B3住 6



B3住 7



B4住 1



B4住 2



A218ピ 1



A5堀 1



A5堀 2



A6堀 1



B3住 8



A10堀 1



A418ピ 1

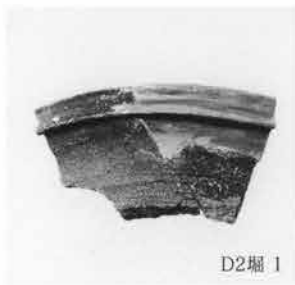


A11堀 1



A11堀 2

A区24・B区3・4号住居跡、A区218・418号ピット、A区5・6・10・11号掘立柱建物跡出土遺物



D2堀 1



A9井 1



A9井 3



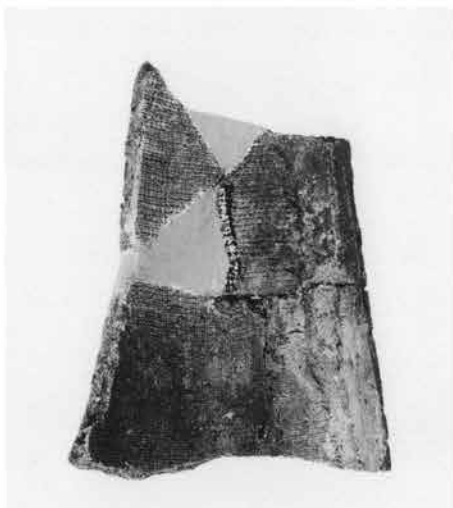
A9井 4



A9井 6



A9井 7



A9井 2



A9井 8



A9井 5



A9井 9



A11井 1

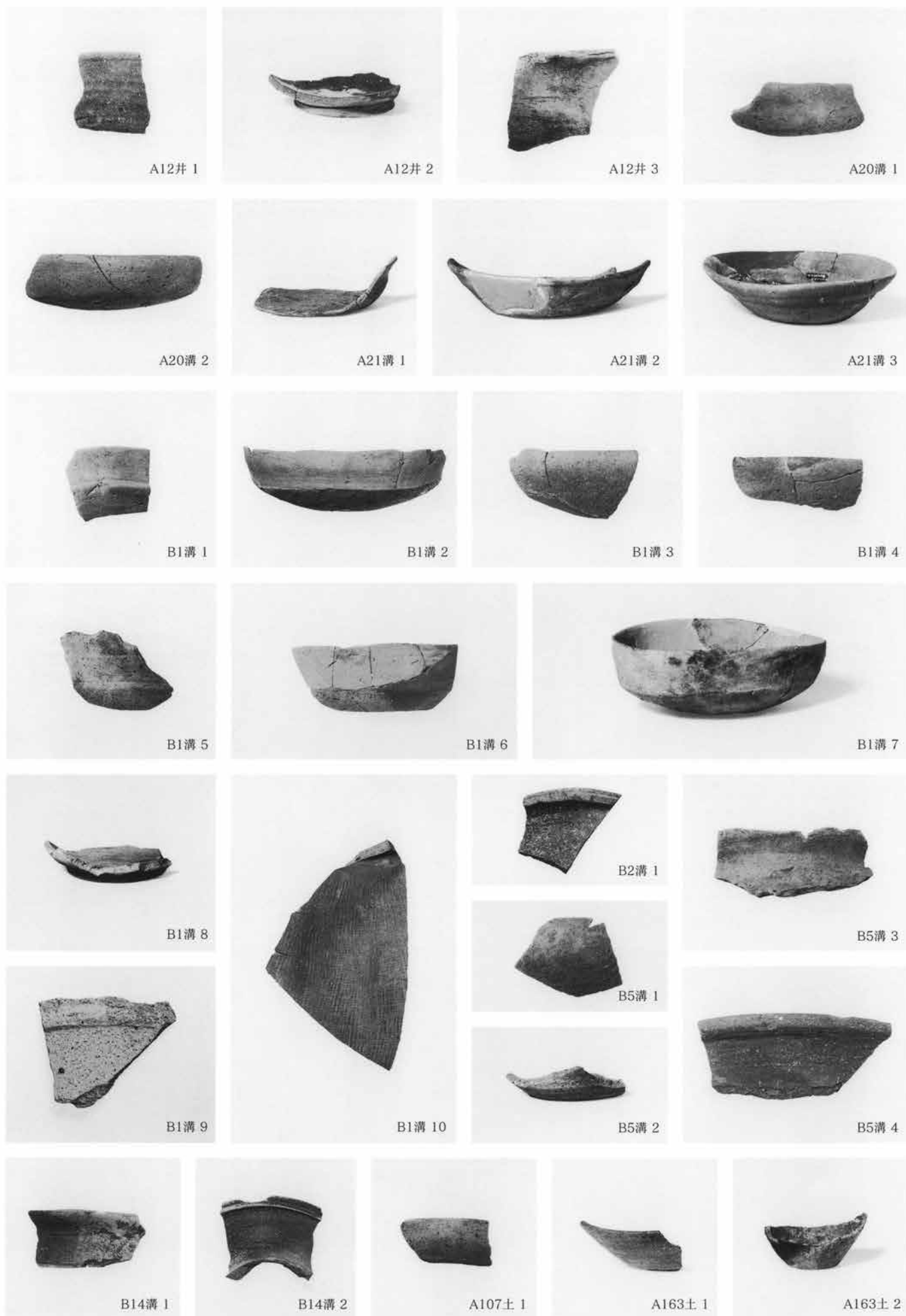


A11井 2

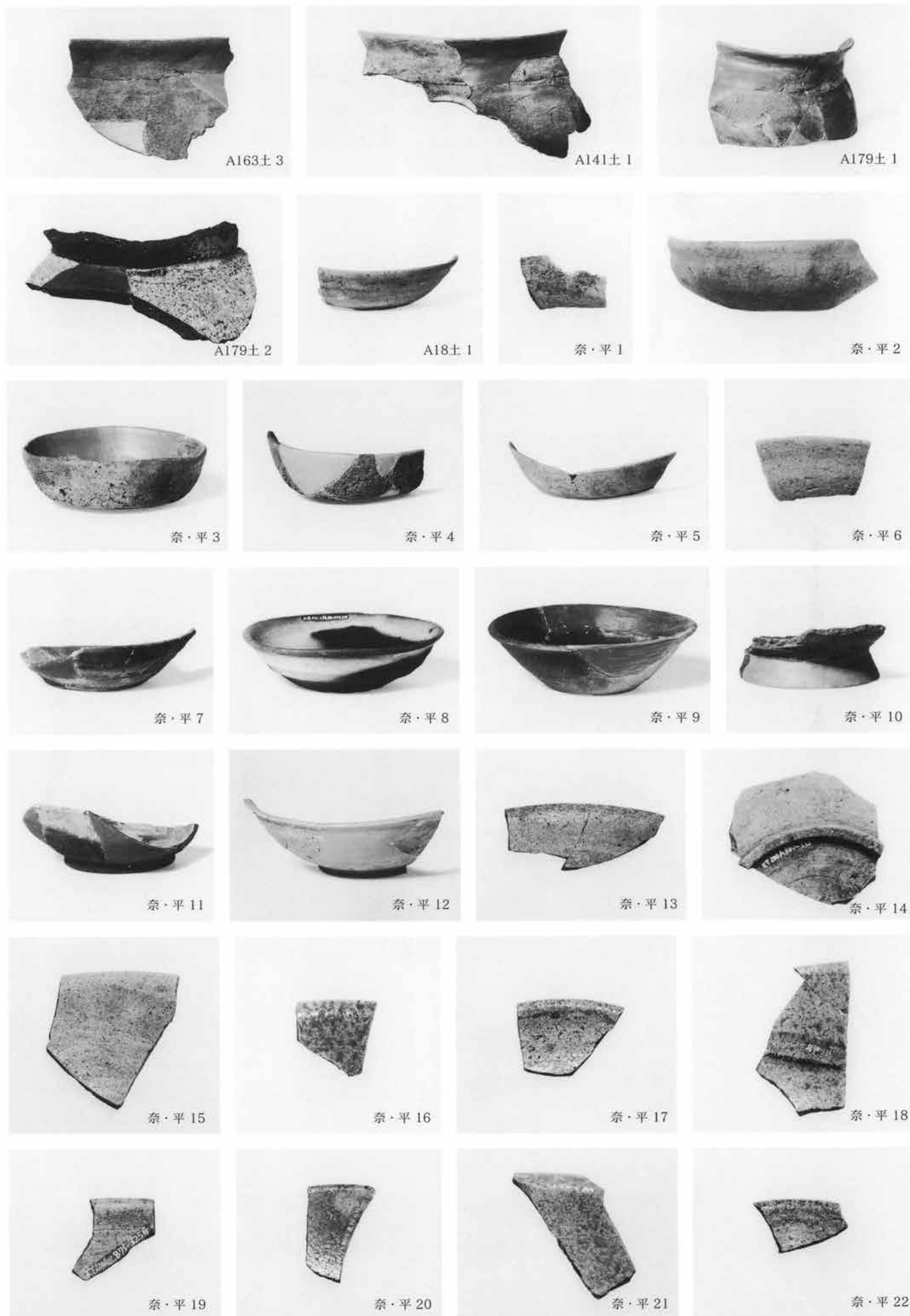


A11井 3

D区2号掘立柱建物跡、A区9・11号井戸跡出土遺物



A区12号井戸跡、A区20・21・B区1・2・5・14号溝、A区107・163号土坑出土遺物



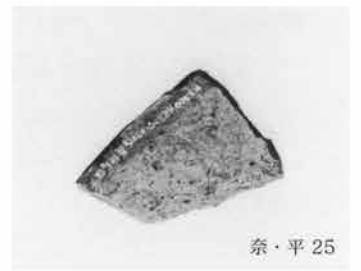
A区163·141·179·B区18号土坑、奈良·平安時代遺構外出土遺物(1)



奈・平 23



奈・平 24



奈・平 25



奈・平 26



奈・平 27



奈・平 28



奈・平 29



奈・平 30



奈・平 31



奈・平 32



奈・平 33



奈・平 34



奈・平 37



奈・平 39



奈・平 42



奈・平 35



奈・平 36



奈・平 44



奈・平 38



奈・平 40



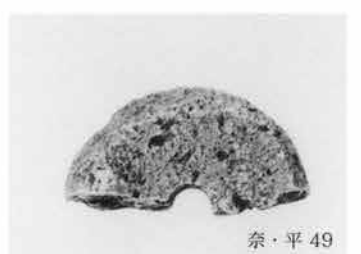
奈・平 41



奈・平 43



奈・平 48



奈・平 49



奈・平 45



奈・平 46



奈・平 47





A13堀 1



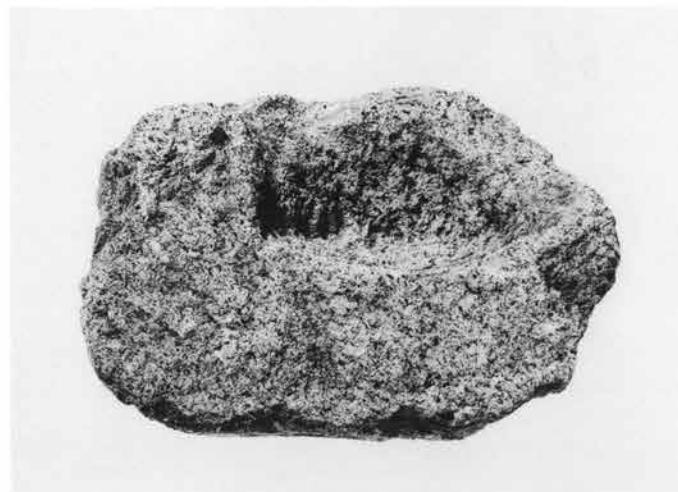
A1井 1



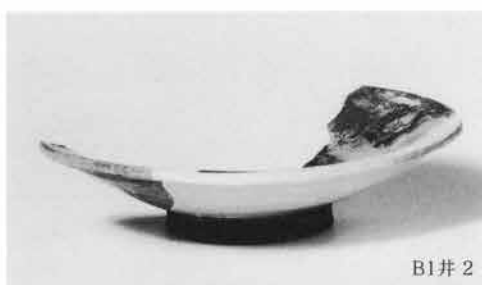
A5井 1



A5井 2



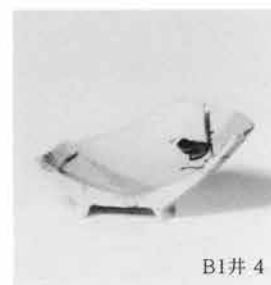
B1井 1



B1井 2



B1井 3



B1井 4



B1井 5



B1井 6



B1井 7



B1井 8

A区13号掘立柱建物跡、A区1・5・B区1号井戸跡出土遺物



B1井 9



B1井 10



B1井 11



B1井 12



B1井 13



B1井 14



B1井 15



B1井 16



B1井 17



B1井 18



B1井 19



B1井 21



B1井 20



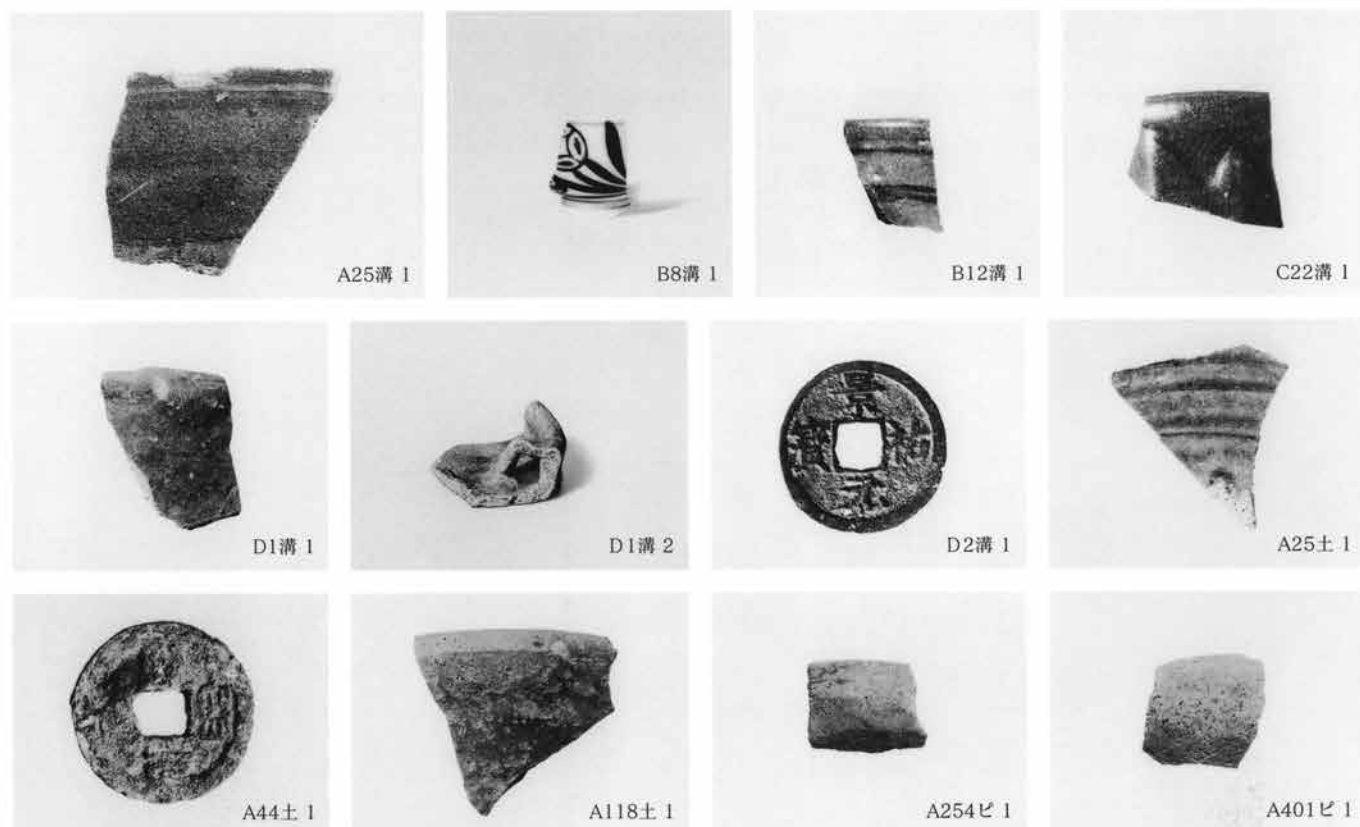
B1井 22



B1井 23



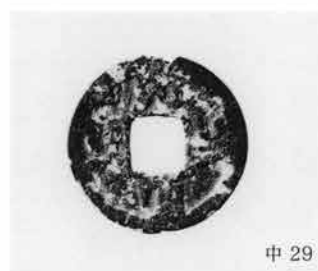
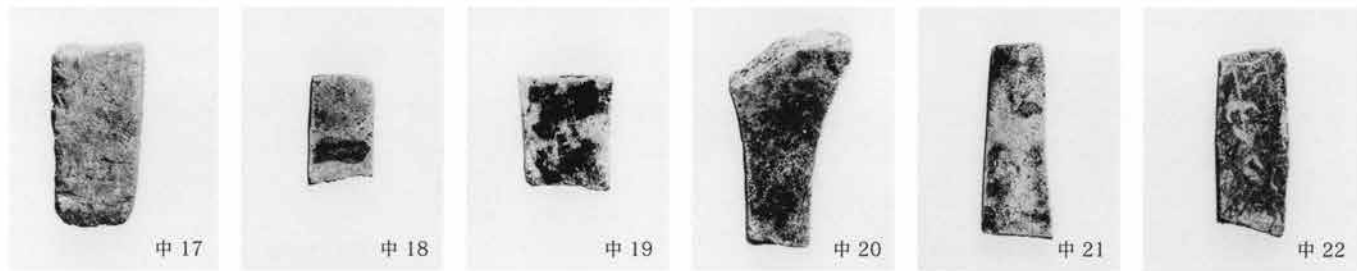
C1井 1



A区25・B区8・12・C区22・D区1・2号溝、A区25・44・118土坑、A区254・401号ピット出土遺物



中世以降遺構外出土遺物(1)



中世以降遺構外出土遺物(2)



財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第316集

波志江西屋敷遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第20集

平成15年3月25日 印刷

平成15年3月25日 発行

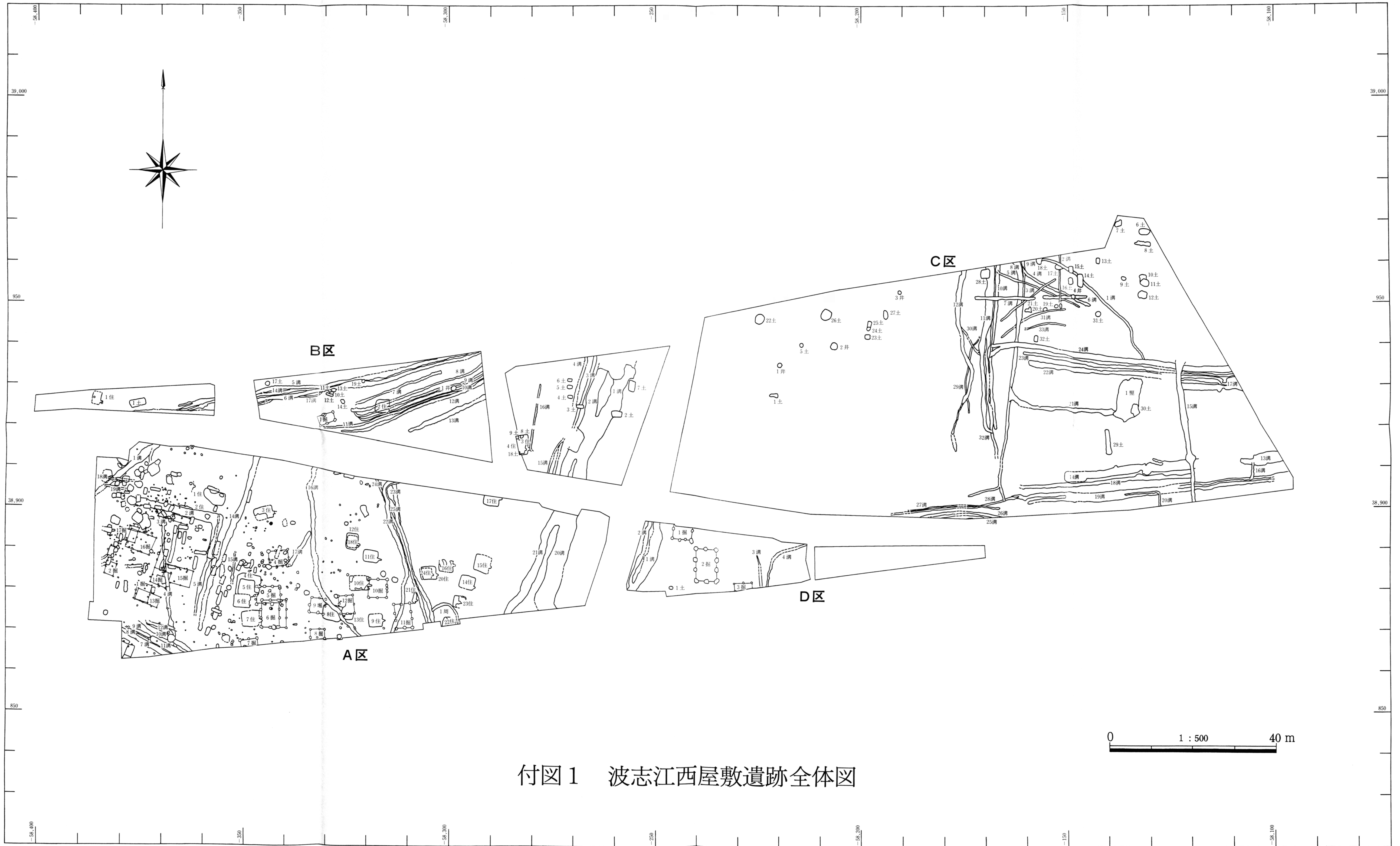
編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

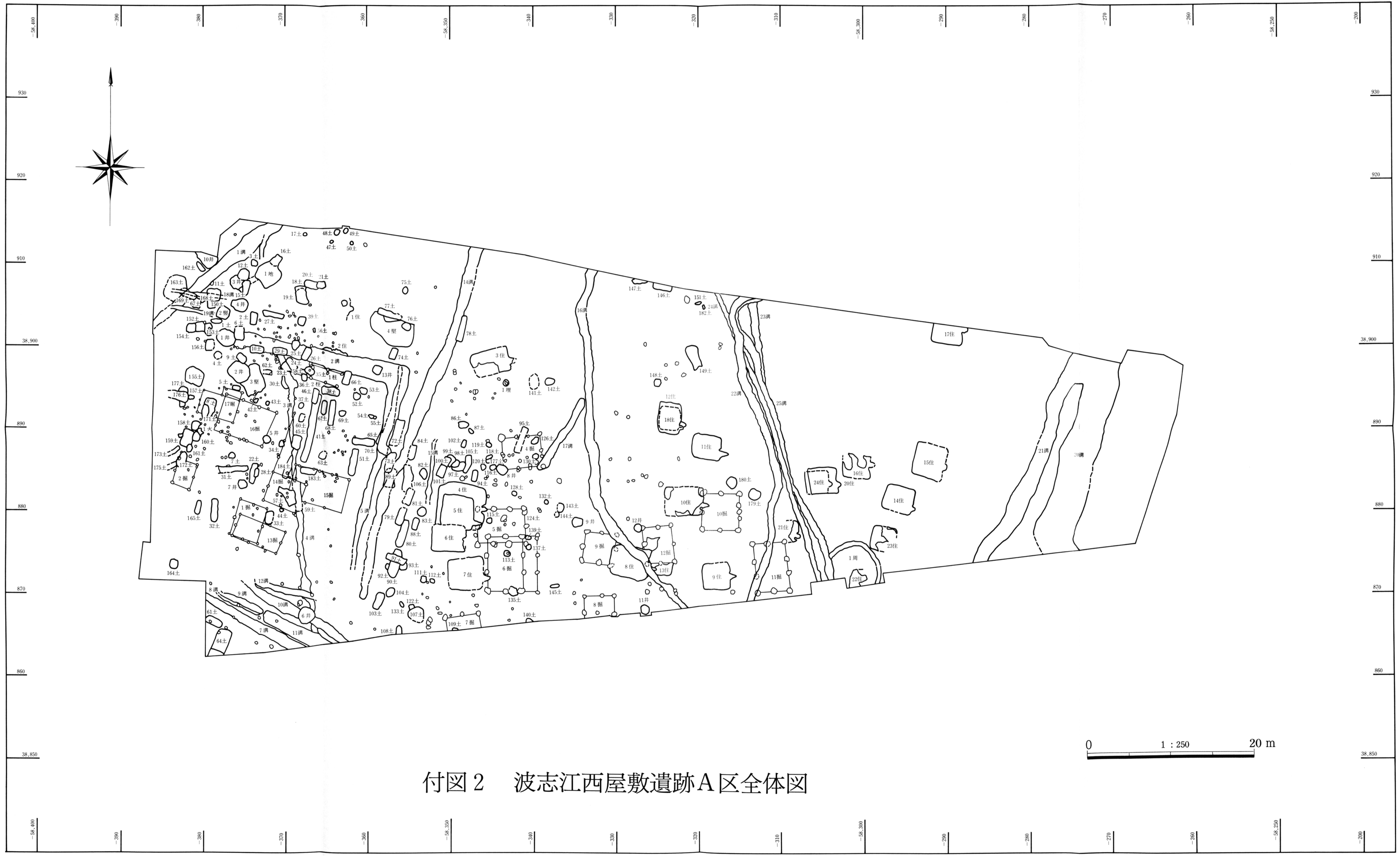
電話 (0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／上 毎印刷工業株式会社



付図1 波志江西屋敷遺跡全体図



付図2 波志江西屋敷遺跡A区全体図